

北秋田市総合戦略検証会議

効果検証シート

総合戦略

基本目標1 産業振興による仕事づくり		元年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
1	I 新規農林業就業者数【累計】	農林課農業振興係、林業振興係	45人	67人	○	
2	II 地元雇用及び正規雇用者増加者数【累計】	商工観光課商工労働係	30人	78人	○	
3	A 農地所有適格法人【累計】	農林課農業振興係	32法人	35法人	○	
4	B 認定農業者数（個人のみ）【累計】	農林課農業振興係	265名	237名		89.4%
5	C 新規就農者数【単年】	農林課農業振興係	7人	12人	○	
6	D 効率的かつ安定的な農業経営（個別経営体・組織経営体）が地域における農用地の利用に占める面積のシェア【累計】	農林課農業振興係	80.0%	81.3%	○	
7	E 比内地鶏飼養羽数【累計】	農林課農業振興係	100,000羽	93,700羽		93.7%
8	A 森林経営計画策定率【累計】	農林課林業振興係	42.0%	21.3%		50.7%
9	B 計画的な施業実施率【累計】	農林課林業振興係	80.0%	29.3%		36.6%
10	C 林業事業所新規従業員数【単年】	農林課林業振興係	3人	2人		66.7%
11	D （民有林における国県市補助の）造林面積【累計】	農林課林業振興係	560.0ha	540.28ha		96.5%
12	E （民有林における国県市単独補助の）作業道延長【累計】	農林課林業振興係	49,000m	29,495m		60.2%
13	F 路網整備率（林道及び林業専用道）【累計】	農林課林業振興係	76.0%	76.1%	○	
14	A 商店街通行量（和田時計店前）【単年】	商工観光課商工労働係	890人	1,388人	○	
15	B 中心市街地の新規出店店舗数【累計】	商工観光課商工労働係	13店舗	14店舗	○	
16	C 「とれたて村」の年間販売額【単年】	商工観光課商工労働係	1,239千円	1,412千円	○	
17	D 普段の買い物で地元商店を週1～2回以上利用する市民の割合【単年】	商工観光課商工労働係	60.0%	31.6%		52.7%
18	E 小売業事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	373事業所	不明		85.0%
19	F 小売業事業所年間販売額【単年】	商工観光課商工労働係	40,936百万円	不明		94.3%
20	A 観光客数【単年】	商工観光課観光振興係	1,700千人	1,108千人		65.2%
21	B 年間宿泊客数【単年】	商工観光課観光振興係	90,000人	49,602人		55.1%
22	C 観光消費額（宿泊客1人当たりの消費額）【単年】	商工観光課観光振興係	30,000円	27,362円		91.2%
23	D 森吉山阿仁スキー場年間ゴンドラ利用者数【単年】	商工観光課観光振興係	50,000人	52,106人	○	
24	E 観光案内人数【累計】	商工観光課観光振興係	100人／6団体	68人／7団体		68.0%
25	A 資格取得支援助成金活用による資格取得者数【単年】	商工観光課商工労働係	53人	54人	○	
26	B 増設事業所件数【累計】	商工観光課商工労働係	5件	4件		80.0%
27	C 新規進出事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	5事業所	3事業所		60.0%
28	D 製造品出荷額【累計】	商工観光課商工労働係	2,728百万円	2,835百万円	○	
			目標達成項目	42.9%	(12/28)	67.9%
基本目標2 移住・定住対策		元年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
29	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】	総合政策課政策係	79世帯110人	128世帯170人	○	
30	A 移住定住相談者数【累計】	総合政策課政策係	186人	427人	○	
31	B 体験移住参加者数【累計】	総合政策課政策係	133人	166人	○	
32	C 移住定住情報提供登録者数【累計】	総合政策課政策係	84人	143人	○	
			目標達成項目	100.0%	(4/4)	100.0%

基本目標3 少子化対策		元年度目標値	元年度実績値	達成	達成率
33	I 出生数【単年】	福祉課こども福祉係	141人	93人	66.0%
34	II 婚姻数【単年】	総合政策課政策係	100組	81組	81.0%
35	A 出生に占める低出生体重児の割合【単年】	医療健康課健康推進係	4.0%	4.3%	93.0%
36	B 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合【単年】	医療健康課健康推進係	85.0%	72.4%	85.2%
37	C 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合【単年】	福祉課こども福祉係	95.0%	57.1%	60.1%
38	D 地域の子育て支援の環境や支援の不満度【単年】	福祉課こども福祉係	15.0% (就業前)、15.0% (小学校)	不明	-
39	E 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合【単年】	福祉課こども福祉係	50.0%	56.6%	○
40	A 市の審議会、委員会等への女性参画率【単年】	総務課総務係	32.0%	25.7%	80.3%
41	B 市役所における女性管理職員の割合【単年】	総務課総務係	10.0%	4.39%	43.9%
42	C 女性就業率【単年】	生活課地域推進係	43.4%	43.1%	99.3%
		目標達成項目	11.1%	(1/9)	66.7%
基本目標4 新たな地域社会の形成		元年度目標値	元年度実績値	達成	達成率
43	I 地域が住みやすいという市民の割合【単年】	生活課地域推進係	78.0%	67.5%	86.5%
44	A 集落の自立活性化(元気ムラ)活動に取り組む自治会の数【累計】	生活課地域推進係	11団体	8団体	72.7%
45	B 活発に活動が行われている自治会(町内会)の割合【単年】	生活課地域推進係	35.0%	66.8%	○
46	C 地域活動に何か参加している市民の割合【単年】	生活課地域推進係	75.0%	67.2%	89.6%
47	A 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【単年】	生涯学習課生涯学習係	56,900人	61,000人	○
48	B 自主講座への移行数【累計】	生涯学習課生涯学習係	10講座	6講座	60.0%
49	C 自主講座の講師を担当する市民の数【累計】	生涯学習課生涯学習係	141人	157人	○
50	D 知識や教養、趣味等自発的に学習する市民の割合【単年】	生涯学習課生涯学習係	65.0%	57.9%	89.1%
51	E 学校支援地域コーディネーター数【累計】	生涯学習課生涯学習係	39人	32人	82.1%
52	F 学校支援地域ボランティア数【累計】	生涯学習課生涯学習係	22,000人	22,490人	○
53	A 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】	都市計画課都市計画住宅係	80.0%	58.5%	73.1%
54	B 公営住宅等の入居率(入居戸数/全戸数)【累計】	都市計画課都市計画住宅係	100.0%	77.9%	77.9%
55	C 空き家率【単年】	総務課危機管理係	15.0%	不明	-
56	D 住宅耐震化率【累計】	都市計画課都市計画住宅係	66.0%	62.0%	93.9%
57	E 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】	都市計画課都市計画住宅係	4か所	2か所	50.0%
58	A 自宅の除雪について特に困っていないことがない市民の割合【単年】	建設課管理係	25.0%	20.3%	81.2%
59	B 自治会や近所の方と協力して(間口や)道路、歩道、自治会館やゴミ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合【単年】	高齢福祉課高齢福祉係	45.0%	40.6%	90.2%
60	C 地域除排雪支援団体(仮)の組織数【累計】	高齢福祉課高齢福祉係	10団体	5団体	50.0%
61	A 秋田内陸線の乗車人数【単年】	内陸線再生支援室	360,000人	261,496人	72.6%
62	B 路線バス・デマンドタクシーの輸送人員数【単年】	総合政策課政策係	240,000人	138,739人	57.8%
63	C 大館能代空港利用者数【単年】	総合政策課政策係	145,000人	148,761人	○
64	A 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合【単年】	総務課危機管理係	60.0%	50.0%	83.3%
65	B 防災情報メール登録者数【累計】	総務課危機管理係	3,500人	2,197人	62.8%
66	C 自主防災組織の結成数【累計】	総務課危機管理係	129団体	42団体	32.6%
		目標達成項目	21.7%	(5/23)	56.5%
		総合戦略合計	34.4%	(22/64)	67.2%

総合計画（目標値は平成32年度でのものです）

1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり		32年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
67	ア 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合	医療健康課地域医療対策室	63.0%	61.4%	97.5%	
68	イ 市民病院の常勤医師数※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数	医療健康課地域医療対策室	22人	22.5人	○	
69	ウ 北秋田市民病院満足度（職員の対応）	医療健康課地域医療対策室	85.0%	91.5%	○	
70	ア 健診受診率（特定健診）	医療健康課健康推進係	60.0%	30.1%	50.2%	
71	イ がん検診受診率（5大がん検診受診率の平均）	医療健康課健康推進係	50.0%	8.9%	17.8%	
72	ウ メタボリックシンドロームとその予備軍の割合	医療健康課健康推進係	20.9%	12.8%	○	
73	エ 自分のことを健康だと思う市民の割合	医療健康課健康推進係	70.0%	68.3%	97.6%	
74	オ 健康診断を受けている市民の割合	医療健康課健康推進係	50.0%	20.9%	41.8%	
			目標達成項目	37.5%	(3/8)	62.5%
2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり		32年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
75	ア 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	20人	55人	○	
76	イ ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	151人	47人	31.1%	
77	ウ 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合	福祉課地域障がい福祉係	95.0%	88.0%	92.6%	
78	ア 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合	高齢福祉課介護保険係	68.0%	67.2%	98.8%	
79	イ 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合	高齢福祉課介護保険係	97.0%	96.5%	99.5%	
80	ウ 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合	高齢福祉課地域包括支援センター	5.0%	7.65%	97.2%	
81	エ 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合	高齢福祉課地域包括支援センター	26.0%	43.4%	76.5%	
82	ア 福祉施設入所者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	139人	130人	○	
83	イ 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	1人	7人	○	
84	ウ 就労移行支援事業の利用者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	11人	2人	18.2%	
85	エ 公共施設バリアフリー率【累計】	福祉課地域障がい福祉係	50.0%	22.0%	44.0%	
			目標達成項目	27.3%	(3/11)	63.6%
3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり		32年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
86	ア 学校生活に満足している児童（生徒）の割合	学校教育課義務教育係	70.0%（小4～6年平均）、65.0%（中1～2年平均）	62.7%（小4～6年平均）、55.4%（中1～2年平均）	小89.6 中85.2	
87	イ 学校支援地域本部の設置割合	学校教育課義務教育係	100%	100%	○	
88	ウ 県学習状況調査における正答率	学校教育課義務教育係	県平均+5～10%	県平均±0%	1.3%	
89	ア 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	50.0%	30.3%	60.6%	
90	イ 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合	生涯学習課文化係	2.0%	2.2%	○	
91	ウ 芸術文化協会の加入団体数【累計】	生涯学習課文化係	105団体	101団体	96.2%	
92	エ 祭りや伝統芸能等、地域行事に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	32.0%	30.3%	94.7%	
93	オ 芸術や文化等、グループ活動に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	13.0%	4.6%	35.4%	
94	ア スポーツ施設利用者数【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	290,000人	223,477人	77.1%	
95	イ チャレンジデー参加率【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	60.0%	62.6%	○	
96	ウ 運動・スポーツを月に数回以上する市民の割合	スポーツ振興課スポーツ係	50.0%	48.0%	96.0%	
97	エ 体育協会所属団体・人数【累計】	スポーツ振興課スポーツ係	23団体、1,800人	22団体、1,744人	96.9%	
			目標達成項目	25.0%	(3/12)	58.3%

4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり		3 2 年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
98	ア 家庭ごみ1 日1 人あたりの排出量【単年】	生活課環境係	6 9 0.1 g / 人・日	6 9 1 g / 人・日	99.9%	
99	イ 総資源化率（リサイクル率）【単年】	生活課環境係	1 5. 4 %	1 2. 0 9 %	78.5%	
100	ウ 不法投案件数【単年】	生活課環境係	4 0 件	7 8 件	51.3%	
101	エ クリーンアップ活動に参加している市民の割合	生活課環境係	1 6. 7 %	3 0. 2 %	○	
102	ア 節電や節水等、地球温暖化防止につながる取り組みをしている市民の割合	生活課環境係	7 5. 0 %	6 0. 9 %	81.2%	
103	イ 公共施設（市直営施設）におけるCO2 排出量【単年】	生活課環境係	6 3, 0 0 0 t-CO2	現時点では算出困難	現時点では算出困難	
104	ア 市道の改良率【累計】	建設課工務係	8 0. 0 %	7 8. 2 %	97.8%	
105	イ 市道の舗装率【累計】	建設課工務係	7 3. 0 %	7 1. 6 %	98.1%	
106	ウ 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】	建設課工務係	8 5. 5 %	7 4. 1 %	86.7%	
107	エ 緊急度が高い橋梁数【累計】	建設課工務係	0 橋	0 橋	○	
108	ア 水洗化率【累計】	上下水道課下水道係	7 5. 0 %	6 5. 7 %	87.6%	
109	イ 経費回収率【単年】	上下水道課下水道係	5 0. 9 %	6 4. 3 %	○	
110	ウ 合併処理浄化槽設置基数【累計】	上下水道課下水道係	1, 1 1 1 基	1, 0 4 4 基	94.0%	
111	ア 有収率（上水、簡水）	上下水道課業務係	8 2. 0 %	6 9. 2 %	84.4%	
112	イ 供給単価—給水原価（上水、簡水）	上下水道課業務係	△ 2 0. 0 0 円/m3	△ 2 2. 8 9 円/m3	85.6%	
			目標達成項目	20.0%	(3/15)	80.0%
5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり		3 2 年度目標値	元年度実績値	達成	達成率	
113	ア 救命講習会を受講したことがある市民の割合	消防本部	6 0. 0 %	5 6. 6 %	94.3%	
114	イ 火災報知機未設置の世帯数【累計】	消防本部	0 %	1 4. 1 %	85.9%	
115	ウ 火災発生件数【単年】	消防本部	1 5 件	1 8 件	83.3%	
116	エ 火災による死者数【単年】	消防本部	0 人	2 人	0.0%	
117	オ 救急救命士数【累計】	消防本部	3 0 人	3 0 人	○	
118	カ 消防団員数【累計】	消防本部	7 5 6 人	6 3 8 人	84.4%	
119	ア 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】	生活課地域推進係	8 0 人	6 9 人	86.3%	
120	イ 交通事故件数（人身事故件数）【単年】	生活課地域推進係	5 0 件	1 6 件	○	
121	ウ 年間死傷者数【単年】	生活課地域推進係	3 0 人	2 1 人	○	
122	エ 交通事故死者数【単年】	生活課地域推進係	1 人	0 人	○	
123	オ 犯罪件数（刑法犯認知件数）【単年】	生活課地域推進係	5 5 件	4 5 件	○	
124	ア 消費生活に関する講座、研修会参加者数【単年】	生活課地域推進係	5 0 人	1 6 8 人	○	
125	ア 職員数【累計】	総務課総務係	4 6 7 人	4 7 8 人	99.0%	
126	イ 実質公債費比率【単年】	財政課財政係	1 4. 2 %	1 0. 9 %	○	
127	ウ 将来負担比率【単年】	財政課財政係	8 5. 0 %	5 8. 5 %	○	
128	エ 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率【単年】	総務課総務係	9 8. 0 %	9 7. 1 %	99.1%	
129	オ 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合	総務課総務係	6 0. 0 %	5 9. 8 %	99.7%	
130	カ ホームページの年間アクセス件数【単年】	総合政策課広報係	5 3 2, 0 0 0 件	6 3 1, 8 1 2 件	○	
131	キ 何かしら市政情報を得ている市民の割合	総合政策課広報係	9 8. 0 %	9 4. 3 %	96.2%	
			目標達成項目	47.4%	(9/19)	94.7%
			総合計画合計	25.6%	(21/65)	76.9%

※単年度の実績がない項目は対象外としています。

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課農業振興係、林業振興係	NO	1
成果指標	I 新規農林業就業者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	1-① 農業、畜産業の振興、1-② 林業の振興						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	9人	18人	27人	36人	45人
実績値	12人	26人	42人	53人	67人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	148.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	就農前の相談活動から就農準備や実践段階まで、総合的なサポートによる就農支援・林業大学校の卒業生の市内事業者への就業促進。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	JA等による実践研修等の就農前対策や国、県等の補助事業活用による機械導入支援や経営開始直後の資金援助等の就農後対策・林業大学校研修生への給付金制度を創設。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	関係機関との連携による支援事業の紹介や各種サポート事業の実施により、新規就農者を毎年確保することができた・過去5年間の林業新規従業員数の年平均は6人であり、単年度目標の3人を達成することができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	引き続き、就農相談や実践研修等の就農前対策から、技術指導や機械導入支援等の就農後対策に至るまで、総合的なサポートを実施するとともに、農業法人でのインターンシップの実施など、移住者を含めた雇用就農の拡大を目指す・令和元年度より林業大学校研修生給付金を創設し交付しており、引き続き啓蒙するとともに、新たな雇用創出に繋がる事業の掘起しに取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	2
成果指標	Ⅱ 地元雇用及び正規雇用者増加者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	1-③ 商業の振興、1-④ 観光・レクリエーションの振興、1-⑤ 工業の振興						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	6人	12人	18人	24人	30人
実績値	16人	25人	44人	72人	78人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	260.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	各産業における経営の安定性、生産性の向上など事業拡大支援による雇用創出や、地元雇用の促進と非正規雇用者を減らすための取組を実施。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	地元への定住率向上を目的とし、県やハローワークと連携した地元企業による中学生向けの仕事博覧会や高校生に対しては企業説明会を開催、また企業や事業者に対し、市民雇用を条件とした雇用促進交付金制度を実施し雇用意欲の向上を図った。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	若者の地元への就業意識、企業の地元採用に対する意識の高揚を図ることができた。また、既存事業所の工場増設や新規創業により雇用拡大が図られた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	県及びハローワークとの連携により、説明会等における地元企業の魅力紹介など内容の充実を図る。また奨励金交付制度の活用について周知を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課農業振興係	NO	3
成果指標	A 農地所有適格法人【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 農業基盤の整備、(2) 新規就農者の確保・経営の法人化、(3) 農業所得向上に向けた「北秋田ブランド」の確立、(4) 畜産振興、(5) 農村環境の保全						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	25 法人	27 法人	31 法人	31 法人	32 法人
実績値	26 法人	30 法人	30 法人	33 法人	35 法人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	109.4%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	集落営農組織、大規模農家等の経営の法人化に向けた助言など。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	国補助事業を活用した、農業経営法人化の支援・関係機関との連携による指導や助言。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	ほ場整備地区の集落営農組織等については、関係機関等の的確な指導や助言及び地域の協力により、予定の法人移行を果たすことができた・ほ場整備地区の集落営農組織や法人移行を検討している大規模農家、若手農業者を中心に関係機関と協力した指導や助言等を実施し目標数を達成することができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	今後新たなほ場整備採択地区については、必要に応じ、関係機関との連携のもと、法人設立に向けた助言などの支援を行う・ほ場整備事業採択地区の集落営農組織や大規模農家を中心に、関係機関と連携し法人設立に向けた助言や情報提供などの支援を行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課農業振興係	NO	4
成果指標	B 認定農業者数（個人のみ）【累計】						
取組方針 施策の方向性	（１）農業基盤の整備、（２）新規就農者の確保・経営の法人化、（３）農業所得向上に向けた「北秋田ブランド」の確立、（４）畜産振興、（５）農村環境の保全						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	250名	265名	265名	265名	265名
実績値	263名	250名	244人	245名	237名

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	89.4%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	認定農業者制度及び各種支援措置について、会議の場等での情報提供。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	申請、更新時のアンケート調査やフォローアップ・支援措置等の情報提供。		
総括 （5年間取り組んできたの分析・総括）	高齢化による認定農業者辞退も見受けられたが、少しずつ若い農業者も増えてきているので、概ね現状維持ができた。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	年々高齢化による離農者の増加が見込まれるが、地域の協力や関係機関との連携により、新規就農者を地域の中心的な経営体へと育成し、将来的には認定農業者へと誘導し現状維持を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課農業振興係	NO	5
成果指標	C 新規就農者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 農業基盤の整備、(2) 新規就農者の確保・経営の法人化、(3) 農業所得向上に向けた「北秋田ブランド」の確立、(4) 畜産振興、(5) 農村環境の保全						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	6 人	6 人	6 人	6 人	7 人
実績値	5 人	5 人	7 人	7 人	12 人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	171.4%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	就農前の相談活動から就農準備や実践段階まで、総合的なサポートによる就農支援。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	JA や農業法人等による実践研修等の就農前対策・国、県等の補助事業活用による機械導入支援や経営開始直後の資金援助等の就農後対策。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	関係機関との連携による支援事業の紹介や各種サポート事業の実施により、新規就農者を毎年確保することができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	引き続き、就農相談や実践研修等の就農前対策から、技術指導や機械導入支援等の就農後対策に至るまで、総合的なサポートを実施するとともに、農業法人でのインターンシップの実施など、移住者を含めた雇用就農の拡大を目指す。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課農業振興係	NO	6
成果指標	D 効率的かつ安定的な農業経営（個別経営体・組織経営体）が地域における農用地の利用に占める面積のシェア【累計】						
取組方針 施策の方向性	（１）農業基盤の整備、（２）新規就農者の確保・経営の法人化、（３）農業所得向上に向けた「北秋田ブランド」の確立、（４）畜産振興、（５）農村環境の保全						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	75.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%
実績値	78.23%	78.0%	78.6%	80.2%	81.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	101.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	農地所有適格法人をはじめとする担い手への農地集積や各事業との連携を視野に入れた窓口での相談対応など。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	農地中間管理事業と農地整備事業を中心としたあきた型ほ場整備を中心に、法人や個人の大規模経営体への集積。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	制度の周知に努めるなど、農地中間管理機構、農業委員会、JA、土地改良区等関係機関の協力を得ることができ、円滑な集積の推進が図られた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	事業の継続した取り組みと、交換分合による分散作圃の解消等により、効率的な農業経営基盤の整備を進めるとともに、山間地域の集積推進方策を検討する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課農業振興係	NO	7
成果指標	E 比内地鶏飼養羽数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 農業基盤の整備、(2) 新規就農者の確保・経営の法人化、(3) 農業所得向上に向けた「北秋田ブランド」の確立、(4) 畜産振興、(5) 農村環境の保全						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	95,080羽	96,310羽	97,540羽	98,770羽	100,000羽
実績値	98,330羽	71,770羽	84,700羽	81,200羽	93,700羽

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	93.7%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	飼養農家の経営安定のための助成措置による生産支援。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	飼養農家に対し、市単独事業による素雛購入費用の一部助成・国補助事業の活用による鶏舎整備。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	飼育農家の負担軽減による生産性向上に資することができた・概ね目標とする飼育羽数の拡大を図ることができた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	現在の事業の継続により飼養農家数、飼養羽数の維持拡大を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課林業振興係	NO	8
成果指標	A 森林経営計画策定率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 新規就業者の育成 (2) 森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備 (3) 森林資源の利活用の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	34.0%	36.0%	38.0%	40.0%	42.0%
実績値	32.5%	34.0%	34.0%	20.8%	21.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	50.7%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	計画的に進められるよう事業体との連携の強化。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	計画策定により国県補助及び市の嵩上げ補助を受けることが可能となることから、事業体へのPRをしながら進めることができた。		
総括 (5年間取り組んできての分析・総括)	森林所有者の森林管理に対する意識の低さがある。森林法の改正により森林管理に対する所有者の責任が明確化された事や、新たな森林管理制度の普及により、計画策定率が改善するよう更なる啓蒙が必要と考える。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	新たな森林経営管理制度の普及により計画策定率は向上するものと考え、計画策定を加速化させるために補助事業等の啓蒙に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課林業振興係	NO	9
成果指標	B 計画的な施業実施率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 新規就業者の育成 (2) 森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備 (3) 森林資源の利活用の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	35.2%	47.5%	57.7%	75.1%	80.0%
実績値	15.6%	24.0%	33.0%	24.4%	29.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	36.6%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	計画的に進められるよう事業体との連携の強化。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	計画に沿った予算確保に努めた。		
総括 (5年間取り組んできての分析・総括)	5ヶ年計画で変更もあるため、年度ごとの実施率の増減がある。国有林事業との兼ね合いもあり思うように実施できていない。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	予算の確保と事業体に対する啓蒙を図りながら、森林施業の実施率増加に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課林業振興係	NO	10
成果指標	C 林業事業所新規従業員数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 新規就業者の育成 (2) 森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備 (3) 森林資源の利活用の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	15 人 (総合計画)	3 人	3 人	3 人	3 人
実績値	7 人	9 人	9 人	4 人	2 人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度 (令和 2 年度) 時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証 (自己分析)

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	66.7%
取組内容 (5 年間でどのように進めようとしたのか?)	林業大学の卒業生の市内事業体への就業促進。		
取組実績 (5 年間で何をを行うことができたか?)	林業大学校研修生への給付金制度を創設することができた。		
総括 (5 年間取り組んできた分析・総括)	単年度で 3 人を目標としており、今回初めて目標値を下回ったが、過去 5 年間の新規従業員数は 31 人と年平均 6 人であり目標の 2 倍の数値となっている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	令和元年度より林業大学校研修生給付金を創設し交付しており、引き続き啓蒙するとともに、新たな雇用創出に繋がる事業の掘起しに取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課林業振興係	NO	11
成果指標	D (民有林における国県市補助の) 造林面積【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 新規就業者の育成 (2) 森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備 (3) 森林資源の利活用の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	177.4ha	273.1ha	368.7ha	464.4ha	560.0ha
実績値	155.1ha	226.69ha	309.14ha	408.9ha	540.28ha

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	96.5%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	計画的に進められるよう事業体との連携の強化。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	計画に沿った予算確保に努めた。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	5ヶ年計画で変更もあるため、年度ごとの実施率の増減がある。国有林事業との兼ね合いもあり思うように実施できていない。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	予算の確保と事業体に対する啓蒙を図りながら、森林施業の実施率増加に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課林業振興係	NO	12
成果指標	E (民有林における国県市補助の) 作業道延長【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 新規就業者の育成 (2) 森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備 (3) 森林資源の利活用の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	15,702m	24,027m	32,351m	40,676m	49,000m
実績値	14,451m	18,942m	20,478m	23,978m	29,495m

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	60.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	計画的に進められるよう事業体との連携の強化。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	計画に沿った予算確保に努めた。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	5ヶ年計画で変更もあるため、年度ごとの実施率の増減がある。国有林事業との兼ね合いもあり思うように実施できていない。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	令和 2 年度から自力施行に対する補助制度が施行となるため、事業の更なる啓蒙と予算確保に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	農林課林業振興係	NO	13
成果指標	F 路網整備率（林道及び林業専用道）【累計】						
取組方針 施策の方向性	（1）新規就業者の育成（2）森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備（3）森林資源の利活用の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	73.8%	74.3%	74.9%	75.4%	76.0%
実績値	73.2%	74.0%	75.3%	75.6%	76.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	100.1%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	北秋田市森林整備計画や高能率生産団地路網整備計画に基づき事業を進めた。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	期間中に林道開設となった路線は4路線（鷹巣地区）であり、高能率生産団地路網整備事業で1路線（森吉地区）の事業が進行中である。（R3年度完成予定）。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	路網整備率は年々増加となっている。林道開設に関する事業は主に県営事業となっており、事業実施枠が限られているため、年1路線というのが現状である。一方で、自治会等からの要望等は年々増加し、事業化を待つ案件が多くなっている。そのため、森林経営計画の策定状況等を考慮し路線に優先順位を付けて、効果的な路網整備を行っていく必要がある。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	北秋田市森林整備計画や高能率生産団地計画に基づき路網の整備を進めていく。森林整備計画については、自治会等の要望や森林経営計画の内容をもとに随時計画の見直しが必要。現状、林道開設に関する事業は県営事業（高能率生産団地路網整備事業）であるため、効果的な路網の設定および事業実施のために県との連携を密にして事業に取り組む必要がある。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	14
成果指標	A 商店街通行量（和田時計店前）【単年】						
取組方針 施策の方向性	（１）既存商店街の活性化（２）地域産業と連携した産業活動の促進（六次産業化含む）						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	700人	860人	870人	880人	890人
実績値	850人	915人	1190人	1,026人	1,388人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	156.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	北秋田市民ふれあいプラザの建設と駅前からのアーケード更新などの各種環境整備に併せ、イベントの開催等による人の流れと賑わい創出を図る。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	空き店舗利活用や商店街等で行う各種イベントに対する市街地賑わい再生支援事業や商工会で事業実施する賑わい創出を図るための事業支援を実施。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	商店街や各団体のマンパワー不足等により商店街通りを活用したイベントが少なくなってきたが、北秋田市民ふれあいプラザがオープンし各種会議やサークル等による集客力が増加したことに伴い通行量も増加している。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現在、開催しているイベントへの積極的な支援や空き店舗を活用した新規出店者への支援により活性化を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	15
成果指標	B 中心市街地の新規出店店舗数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 既存商店街の活性化 (2) 地域産業と連携した産業活動の促進 (六次産業化含む)						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	5 店舗	7 店舗	9 店舗	1 1 店舗	1 3 店舗
実績値	7 店舗	9 店舗	1 1 店舗	1 2 店舗	1 4 店舗

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	107.7%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	中心市街地においては、北秋田市民ふれあいプラザやアーケードの整備により賑わいを創出するとともに、商工会の空き店舗調査と連携しながら空き店舗の登録及び利用者の増を目指した。起業支援については住宅も兼ねた空き店舗が多いことから出店に伴うリフォームに対する支援を実施。北秋田市民ふれあいプラザにおける特産品の開発やチャレンジブースの活用、時限的な空き店舗の借り上げを検討するなど、空き店舗解消に向けた商業関係者の育成を図った。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	中心市街地における新規出店者数の目標数を超えることができた。ふれあいプラザのチャレンジブースから中心市街地への出店に結び付いている。また、起業支援補助金の活用により、店舗改装などが行われ新規出店者の確保につながった。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	当初は鷹巣駅前の中心市街地への新規出店を推進していたが、途中から出店希望者の要望に見合う空き店舗が不足し、助成の範囲を市内全域へ拡大した経緯がある。鷹巣駅前への出店が増えたためであり、一定の取組みの成果といえる。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	依然として空き店舗は存在するため、引き続き商工会と連携しながら市内全域への新規出店を推進する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	16
成果指標	C 「とれたて村」の年間販売額【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 既存商店街の活性化 (2) 地域産業と連携した産業活動の促進 (六次産業化含む)						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1, 161千円	1, 181千円	1, 200千円	1, 220千円	1, 239千円
実績値	1, 379千円	1, 590千円	1, 212千円	1, 001千円	1, 412千円

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	114.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	ホームページ等を活用し、市内事業者へ「とれたて村」への商品出品を促し出品数を増やすほか、商店街イベントへ参加し、現地に出向北秋田市産品のPRを図った。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	取り扱い商品を増やすほか、現地でのPRにより、特定商品購入のリピーターを作ることができた。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	毎月の売上表やイベント参加の状況から分析し、加工品よりも野菜や果物等の方が買い求める方が多いため、JAを始め市内農業法人への登録依頼も必要と考える。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	野菜の提供量を増やすため農業法人等へのとれたて村の紹介及び依頼をするほか、新規特産品(特産品事業)の登録を促し、取り扱い商品の増加を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	17
成果指標	D 普段の買い物で地元商店を週1～2回以上利用する市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 既存商店街の活性化 (2) 地域産業と連携した産業活動の促進 (六次産業化含む)						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	57.0%	57.7%	58.5%	59.2%	60.0%
実績値	55.0%	62.8%	37.7%	33.2%	31.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	52.7%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	イベントの開催や商店街独自の集客に対する取組みに積極的に支援し人の流れを作ることで、地元消費喚起を促し、活性化を図る。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	商店街組織が行うイベント（きらきらフェスティバル、鷹巣駅横屋台祭り等）に対して助成を行い、賑わいの創出を図った。また、プレミアム付き商品券を発行し、地元商店街への消費喚起を図った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	イベント自体は賑わい創出に一定の効果が出ていると思われるが、大手スーパーが商店街と離れていることもあり、実績を伸ばすことができなかった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	商店街が行う独自の消費喚起の取組みに対する支援。併せてクーポン発行や商品券等で地元商店街への流れを作ることに取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	18
成果指標	E 小売業事業所数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 既存商店街の活性化 (2) 地域産業と連携した産業活動の促進 (六次産業化含む)						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	353事業所	358事業所	363事業所	368事業所	373事業所
実績値	357事業所	-	-	313事業所	-

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	85.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	新規出店者への補助や支援を行うことで、市内における小売事業者数の維持を図った。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	商工会と連携し、新規出店者への補助や支援を行い、小売事業者数の維持に努めた。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	人口の減少、高齢化と共に小売店舗も減少してきているが、空き店舗の利活用などにより新規出店者の確保にも努めており、緩やかな減少となっている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	空いた店舗の再利用など、今後も新規の出店者の確保を目指すとともに、廃業による事業所減少を防ぐため事業承継支援等の検討を進める。		

備考	【達成度】平成 28 年経済センサス（30 年公表）の調査数値を使用、次回調査は 3 年（5 年公表）
----	---

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	19
成果指標	F 小売業事業所年間販売額【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 既存商店街の活性化 (2) 地域産業と連携した産業活動の促進 (六次産業化含む)						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	38,736百万円	39,286百万円	39,836百万円	40,386百万円	40,936百万円
実績値	-	-	-	38,098百万円	-

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	94.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	新規出店者と市の特産品として魅力ある商品を開発する者へ支援を行い、地域の特産品として売上の向上を目指した。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	市推奨認定品として、H27…3件、H29…5件、H30…8件、R1…3件の認定を行っており、売上と販売額の向上につながっている。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	毎年魅力ある推奨品が認定されており、年間販売額の向上につながっているが、事業所数そのものが減っており、目標数値より下回っている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	推奨品のPR等により、商品価値を上げ販売額の向上を目指す。		

備考	【達成度】平成28年経済センサス（30年公表）の調査数値を使用、次回調査は令和3年（令和5年公表）
----	---

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課観光振興係	NO	20
成果指標	A 観光客数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 森吉山を中心とした滞留型観光の推進 (2) 歴史・文化を活用した観光の推進 (3) 老朽化した観光施設の改修及び整理 (4) 関係機関との連携強化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	1, 352千円	1, 439千人	1, 526千人	1, 613千人	1, 700千人
実績値	1, 279千人	1, 215千人	1, 152千人	1, 070千人	1, 108千人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	65.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	近隣諸国からの観光客増加に向け、修学旅行生を対象としたメニューや歴史・文化を活用した観光メニューの開発のほか、トップセールスによる誘客促進など。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	インバウンドを対象としたトップセールスや地域事業者、DMO 等との連携によるプロモーションを行うほか、主に国内客を対象として北秋田市観光物産協会や各実行委員会が主催するイベントの開催を支援することで北秋田市への観光誘客を図った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	日帰り客数については全体として苦戦しているものの、インバウンドについては増加傾向にあるが、国際情勢等により変動が大きい。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	引き続きインバウンドの取り込みを目指すとともに、国際情勢等による変動リスクを最小限にするため、ターゲット国・地域をアジアの他に近年増加傾向のオセアニアや DMO のペルソナ像に合致する欧米等へ広げていくとともに、国内需要については交流人口のほかに関係人口への対策も意識した掘り起しを図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課観光振興係	NO	21
成果指標	B 年間宿泊客数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 森吉山を中心とした滞留型観光の推進 (2) 歴史・文化を活用した観光の推進 (3) 老朽化した観光施設の改修及び整理 (4) 関係機関との連携強化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	54,296人	63,221人	72,146人	81,071人	90,000人
実績値	46,358人	44,921人	48,880人	45,828人	49,602人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	55.1%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	市内宿泊施設間の連携強化と、宿泊施設の増改築補助など。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	宿泊施設の増改築を支援する「宿泊施設パワーアップ事業」を実施するとともに、宿泊事業者が独自の「おもてなし」を宿泊客へ提供する取り組みを市が支援した。		
総括 （5年間取り組んできた分析・総括）	宿泊客数については、年によってばらつくものの概ね増加傾向となっている。インバウンドについては顕著に増加しており、近年インバウンドやFIT（個人客）をターゲットとした小規模であるが個性的な宿泊施設が開設されている。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	当市では宿泊許容量は決して多くないが、北秋田市ならではの景色や体験等を提供し滞留時間の増加を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課観光振興係	NO	22
成果指標	C 観光消費額（宿泊客1人当たりの消費額）【単年】						
取組方針 施策の方向性	（1）森吉山を中心とした滞留型観光の推進（2）歴史・文化を活用した観光の推進（3）老朽化した観光施設の改修及び整理（4）関係機関との連携強化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	26,000円	27,000円	28,000円	29,000円	30,000円
実績値	25,544円	24,752円	26,393円	25,280円	27,362円

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	91.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	街歩きマップや市特産品の販路拡大と商品開発など。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	DMO と協働し、地域ブランドにあわせた特産品詰め合わせ開発やデジタルマップを作製したほか、事業者が行なう体験型アクティビティ等の事前予約・決済のシステム化を図った。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	直接的に評価できないため観光客数の伸び率から間接的に推計したところ、宿泊客数が徐々に伸びていることから滞在時間及び消費額は徐々に伸びつつある。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	日帰りより単価の高い宿泊、特にインバウンドを中心に体験や飲食等の提供環境の整備に取り組んでいく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課観光振興係	NO	23
成果指標	D 森吉山阿仁スキー場年間 Gondola 利用者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 森吉山を中心とした滞留型観光の推進 (2) 歴史・文化を活用した観光の推進 (3) 老朽化した観光施設の改修及び整理 (4) 関係機関との連携強化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	49,411人	49,558人	49,705人	49,852人	50,000人
実績値	52,350人	52,856人	46,844人	47,718人	52,106人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	104.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	スキー愛好者を対象としたメニューの開発や自然を活用した観光ルート、体験型観光メニューの開発など。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	「日本三大樹氷」として、青森市（八甲田）・山形市（蔵王）とともに「森吉山の樹氷」について広域連携によるプロモーションと広域観光ルートの開発を行った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	県との協働プロジェクトの期間中に目標を達成して以来、天候に左右され変動が大きいものの善戦している。特にインバウンドについては顕著に増加しているほか、国・地域についてもアジアに加えオセアニアからの誘客が増加しつつある。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	「日本三大樹氷」に加え、貴重な自然に配慮しながら様々な自然体験を提供していく持続可能なツーリズムの展開のほか、連携自治体との四季を通じた連携体制の構築を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課観光振興係	NO	24
成果指標	E 観光案内人数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 森吉山を中心とした滞留型観光の推進 (2) 歴史・文化を活用した観光の推進 (3) 老朽化した観光施設の改修及び整理 (4) 関係機関との連携強化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	52人／4団体	64人／4団体	76人／5団体	88人／5団体	100人／6団体
実績値	48人／5団体	49人／5団体	71人／6団体	63人／5団体	68人／7団体

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	68.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	「ぷらっと」での体験型観光メニューの開発など。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	案内団体等事業者との協議を図りながら、特に冬期観光の中心である「樹氷案内人」の体制整備を図った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	複数団体の協力により「樹氷」の案内体制については一定の整備が図られたが、地理的・施設の要件から案内料徴収等による自立的な活動にまでは至っていない。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	「樹氷案内」等の自然体験の案内のほか、歴史文化や農林業といった北秋田市ならではの暮らしを案内する体制の整備と案内料徴収等による自立的な活動の推進に取り組んでいく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	25
成果指標	A 資格取得支援助成金活用による資格取得者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 雇用奨励制度の充実 (2) 企業誘致、既存事業所の拡大支援 (3) 小規模事業所の雇用支援 (4) 雇用ミスマッチの解消						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	4 人	4 7 人	4 9 人	5 1 人	5 3 人
実績値	4 5 人	5 9 人	4 4 人	4 8 人	5 4 人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	101.9%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	ホームページや広報及び企業訪問等での制度周知を行い、当支援による企業の求人意欲の向上と求職者が市内事業所へ就職できるよう取り組む。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	利用者も多く、幅広く市内の企業及び求職者への支援ができた。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	市内企業については雇用の維持や事業拡大を図ることから活用が多く、求職者については当該制度活用により就業に結びついた例も多い。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	企業への支援を手厚くするため、企業の雇用規模に応じて申請利用枠の拡大を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	26
成果指標	B 増設事業所件数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 雇用奨励制度の充実 (2) 企業誘致、既存事業所の拡大支援 (3) 小規模事業所の雇用支援 (4) 雇用ミスマッチの解消						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	—	—	5 件	5 件	5 件
実績値	1 件	2 件	3 件	3 件	4 件

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	80.0%
取組内容 (5 年間でどのように進めようとしたのか?)	定期的な企業訪問による情報収集に努め、増設と設備投資を促すため各助成事業等の紹介を行い産業の活性化を図る。		
取組実績 (5 年間で何をを行うことができたか?)	市内誘致企業の本社や親会社への定期的な訪問により情報収集に努め、増設と設備投資により雇用の拡大へも波及させるため、市工業振興促進条例及び県助成事業等の利用による積極的な事業拡大の推進を図った。		
総括 (5 年間取り組んできた分析・総括)	世界経済の回復による輸出の増加やオリンピック関連需要及びインバウンド需要など消費拡大による好調な企業収益を背景とした事業拡大に伴う増設が図られた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	引き続き、情報収集などきめ細かいフォローアップと各種助成事業等制度の紹介を図ることで事業拡大に繋がる支援を行っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	27
成果指標	C 新規進出事業所数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 雇用奨励制度の充実 (2) 企業誘致、既存事業所の拡大支援 (3) 小規模事業所の雇用支援 (4) 雇用ミスマッチの解消						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	1 事業所	2 事業所	3 事業所	4 事業所	5 事業所
実績値	0 事業所	2 事業所	2 事業所	2 事業所	3 事業所

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	60.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	世界経済の回復による輸出の増加やオリンピック関連需要など、好調な企業収益を背景とした事業拡大の動きを捉え、多様で安定した雇用の創出に繋がるよう秋田県企業誘致推進協議会などと連携。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	秋田県企業誘致推進協議会などと連携し、今後も拡大が見込まれる産業（輸送機関連・新エネルギー関連・医療福祉関連・IT 関連・食品加工関連）へ市内の立地環境を広く PR し、新規進出に向け推進を図った。		
総括（5年間取り組んできての分析・総括）	全国的に企業収益が好調であることと拡大が見込まれる産業の誘致に取り組んだ結果、新エネルギー関連産業（木質バイオマス発電・太陽光発電等保安事業）の立地に繋がった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	市内環境を広く PR しながら、今後も拡大が見込まれる産業（輸送機関連・新エネルギー関連・医療福祉関連・IT 関連・食品加工関連）を主なターゲットに、秋田県企業誘致推進協議会などと連携し新規企業誘致の推進を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 1 産業振興による仕事づくり	担当部署	商工観光課商工労働係	NO	28
成果指標	D 製造品出荷額【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 雇用奨励制度の充実 (2) 企業誘致、既存事業所の拡大支援 (3) 小規模事業所の雇用支援 (4) 雇用ミスマッチの解消						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	2, 6 2 2 百万円	2, 6 4 9 百万円	2, 6 7 5 百万円	2, 7 0 2 百万円	2, 7 2 8 百万円
実績値	2, 5 9 6 百万円	-	-	2, 6 2 5 百万円	2, 8 3 5 百万円

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	103.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	企業の生産性向上に向け各種助成事業等の紹介を行うなど出荷増額に繋がるよう展開を図る。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	企業の生産性向上に向け、きめ細やかな企業訪問を行い、各種助成事業等の情報提供、活用により事業所の出荷額増に繋がるよう努めた。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	世界経済の回復による輸出の増加やオリンピック関連需要及びインバウンド需要など消費拡大による好調な企業収益を背景とした事業拡大に伴う出荷額の増額が図られた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	企業の生産性向上に向け各種助成事業等の紹介を行うなど更なる出荷増額を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標2 移住・定住対策	担当部署	総合政策課移住定住支援室	NO	29
成果指標	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】						
取組方針 施策の方向性	2-① 移住定住の促進						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3世帯10人	6世帯20人	9世帯30人	44世帯70人	79世帯110人
実績値	8世帯9人	18世帯22人	54世帯65人	82世帯106人	128世帯170人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	154.5%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR活動、移住希望者との接点づくり、農林業や観光を入口とした移住体験、移住相談のワンストップ対応、移住施策の奨励と創造、移住者のネットワークづくり、中高生に対する市内就職・Uターンの意識の高揚、移住希望者の就業支援と地場産業の活性化などの施策を進めた。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	首都圏等での移住フェアの開催・SNS・雑誌等を活用した情報発信・地下鉄客車内へのポスター掲示・市内での出前講座、暮らし・しごと・まなびを自由にカスタマイズできる移住体験と体験を限定したツアーの実施、拠点となる移住体験住宅（移住定住ネットワークセンター）の整備、ワンストップ窓口（移住・定住支援室）の設置、地域おこし協力隊の複数配置・移住者ネットワーク「ススム」の組織化、移住者に対する各種助成制度の創出、就職×移住相談会、北鷹高校での授業等の実施など。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	取組実績に掲げたきめ細かな各種施策の総合的推進により、移住者数を増加させることができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現施策を継続していくとともに、関係人口を構築するための施策も併せて展開し、さらなる移住者数の増加を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標2 移住・定住対策	担当部署	総合政策課移住定住支援室	NO	30
成果指標	A 移住定住相談者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR、移住希望者との接点づくり (2) 農林業や観光を入口とした移住体験 (3) 移住相談のワンストップ対応、移住施策の奨励と創造 (4) 移住者のネットワークづくり (5) 中高生に対する市内就職・Uターンの意識の高揚 ((6)) 移住希望者の就業支援と地場産業の活性化						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10人	18人	26人	106人	186人
実績値	19人	72人	154人	280人	427人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	229.6%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	移住希望者の相談機会の場の設定と情報発信、応対する地域おこし協力隊の配置など。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	県・県北市町村・市といった各種団体主催によるフェア等への参加、SNS・雑誌等を活用した情報発信や地域おこし協力隊(移住コーディネーター)の複数配置など。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	移住希望者の相談機会の場を増加させフェア等の内容や移住関連の諸制度をSNS・雑誌等を活用し発信、移住先での様々な不安にきめ細かに応対する移住コーディネーターを複数配置したことにより、移住定住相談者数を増加させることができた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	現施策を継続していくとともに、より効果的な相談機会の場の設定と情報発信を行いながら、さらなる移住定住相談者数の増加を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標2 移住・定住対策	担当部署	総合政策課移住定住支援室	NO	31
成果指標	B 体験移住参加者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR、移住希望者との接点づくり (2) 農林業や観光を入口とした移住体験 (3) 移住相談のワンストップ対応、移住施策の奨励と創造 (4) 移住者のネットワークづくり (5) 中高生に対する市内就職・Uターンの意識の高揚 ((6)) 移住希望者の就業支援と地場産業の活性化						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6人	10人	13人	73人	133人
実績値	1人	20人	80人	130人	166人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	124.8%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	魅力ある移住体験メニューの創設、拠点となる移住体験住宅の整備、体験事業を直接伝える機会の場の設定と体験情報の発信、応対する地域おこし協力隊の配置など。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	くらし・しごと・まなびの移住体験メニューの創設と増設、移住体験ツアーの実施、拠点施設となる移住体験住宅（移住定住ネットワークセンター）の整備、体験事業を直接伝える機会の場の設定（県・県北市町村・市主催のフェア等）とSNS・雑誌等を活用した体験情報の発信、地域おこし協力隊（移住コーディネーター）の複数配置など。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	移住体験メニューの充実、移住定住ネットワークセンターの整備、地域おこし協力隊の増員による移住体験者の本市への興味の増大と不安等の解消につながることができ、目標値の達成につながった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現施策を継続していくとともに、効果的な相談の場と情報発信を行いながら、関係人口を構築するためのメニューとして、阿仁のマタギ文化を有効活用していくなど、さらなる移住体験参加者数の増加を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標2 移住・定住対策	担当部署	総合政策課移住定住支援室	NO	32
成果指標	C 移住定住情報提供登録者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR、移住希望者との接点づくり (2) 農林業や観光を入口とした移住体験 (3) 移住相談のワンストップ対応、移住施策の奨励と創造 (4) 移住者のネットワークづくり (5) 中高生に対する市内就職・Uターンの意識の高揚 ((6)) 移住希望者の就業支援と地場産業の活性化						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	8人	16人	24人	54人	84人
実績値	0人	11人	44人	92人	143人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	170.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	地域おこし協力隊の配置、移住希望者の相談機会の場の設定、移住支援制度の情報発信。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	地域おこし協力隊（移住コーディネーター）の複数配置と移住希望者の相談機会の場の増加、SNS・雑誌等を活用した移住支援制度等の情報発信。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	取組実績に掲げる施策等の推進により、移住を検討している方々が本市の移住支援制度情報に接する機会が増加し、目標値を上回る数値となった		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現施策を継続していくとともに、さらなる効果的な相談の場と情報発信及び地域おこし協力隊（移住コーディネーター）を複数配置しながら、移住希望登録者の増加を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	福祉課こども福祉係	NO	33
成果指標	I 出生数【単年】						
取組方針 施策の方向性	3-① 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実、3-② 男女共同参画社会の実現						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	141人	141人	141人	141人	141人
実績値	156人	156人	124人	130人	93人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	66.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	若い年齢からの啓発や結婚に向けた支援、不妊治療に対する助成のほか、安心して出産・子育てできるよう仕事と家庭の両立のための支援や子育てに係る負担軽減や不安解消に向けた支援を行った。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	平成26年度策定の「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」により、地域子ども・子育て支援事業に取り組んできた。		
総括（5年間取り組んできての分析・総括）	特に令和元年度の出生数が大幅に減少しているが、5年間の実績値をみても人口減少に歯止めをかけるための水準に至っていないことから、部署間の連携した取り組みによる包括的な取り組みが必要。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	引き続き地域子ども・子育て支援事業に取り組むほか、出生数を増やす取り組みとして第1子誕生世帯へ記念品を支給する事業を令和2年度から行うほか、第2子以降が誕生した世帯へのクーポン券支給により経済的な支援にも努めていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	総合政策課移住定住支援室	NO	34
成果指標	Ⅱ 婚姻数【単年】						
取組方針 施策の方向性	3-① 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実、3-② 男女共同参画社会の実現						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	93組	95組	96組	98組	100組
実績値	86組	79組	71組	62組	81組

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	81.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	（一社）あきた結婚支援センター、北秋田地域振興局、市商工会青年部等の関係団体との連携による結婚希望者への出会いの場の提供や経済的な支援、市内企業等への本市結婚支援事業内容のPR活動など。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	（一社）あきた結婚支援センター入会希望者への入会登録料全額助成制度の創設、市主催や北秋田地域振興局・商工会青年部との共催による出会いイベントの複数開催実施、若者夫婦の結婚を寿ぎ本市への定住を促すことを目的とした結婚生活応援金の創設、出会い・結婚支援制度を紹介するリーフレットの新規作成と新成人・市内企業へのPR活動など。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	独身男女が気軽に参加できる内容の出会いイベントを実施したことにより、参加希望者が年々増加するとともに、イベント参加をきっかけに交際中の方、結婚予定の方が数名おり、出会いの場として一定の役割を果たすことができた。結婚生活応援金の申請者も増加しており、若者夫婦の定住につなげることができた。目標は達成できなかったものの、今後、各支援策が徐々に浸透していくことで多くの若者が出会いに目を向ける機会にしていきたい。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現施策を継続し、結婚を望む方の希望を叶えられるよう支援・応援を続けていく。各種制度の効果を検証するためのアンケート調査を定期的実施しながら、婚姻数の増加に結びつくよう制度内容の見直しなどを図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	35
成果指標	A 出生に占める低出生体重児の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1)結婚、子育てに関する若者への支援(2)子育てと仕事の両立支援(3)子育て家庭を支援する環境づくり(4)地域・社会全体で子育てを支える意識・環境づくり						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	7.0%	6.3%	5.6%	4.9%	4.0%
実績値	7.7%	10.2%	10.9%	14.5%	4.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:4

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	93.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	健やかなお子さんを生み育てるために妊娠中の健康管理、保健指導に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	妊娠届出を妊娠12週までに申請し早くから妊婦健診を通じて妊娠中の健康管理に努めるよう指導した。妊婦健診受診票を追加し健康管理、費用負担の軽減を図った。マタニティ教室などを実施し妊娠中、産後の生活について指導した。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	不妊治療の拡大により妊娠後の管理も重要と思われる。出生児体重は2,000~2,500g(75.0%)については合併症がない場合は正常分娩と同じように推移しており、低体重児の指標を変更してよいと思われる。低体重児の割合は出生数が少ないため年により率の変動がある。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	成果指標の基準を見直し未熟児養育医療申請件数とする。継続して妊娠中の健康管理保健指導をすすめる。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	36
成果指標	B 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1)結婚、子育てに関する若者への支援(2)子育てと仕事の両立支援(3)子育て家庭を支援する環境づくり(4)地域・社会全体で子育てを支える意識・環境づくり						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	77.3%	79.3%	81.3%	83.3%	85.0%
実績値	77.4%	75.3%	79.1%	76.1%	72.4%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:869

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	85.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	子育て中の不安の軽減に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	妊娠中から妊婦健診、乳幼児健診や相談、育児サークル等の場を通じ母親の支援に努めた。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	体調が良いと答えた割合は70%以上を推移しているが、よくないと答えた方も毎年約2.0%いる。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	令和2年に開設する子育て世代包括支援センターを拠点に妊娠中からの切れ目ない支援を行い育児不安の軽減、母親の支援に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	福祉課こども福祉係	NO	37
成果指標	C 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1)結婚、子育てに関する若者への支援(2)子育てと仕事の両立支援(3)子育て家庭を支援する環境づくり(4)地域・社会全体で子育てを支える意識・環境づくり						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90.4%	91.5%	92.7%	93.8%	95.0%
実績値	-	50.9%	54.2%	61.0%	57.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:70

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	60.1%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	地域子育て支援センターや乳幼児健診での相談のほか、親支援講座の実施により、子育てに係る負担軽減や不安解消に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	取組内容のほか、コムコムの子育て世帯支援室により気軽に親同士の交流が図られている。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	「相談したいができる人がいない」の回答が年々減少しており、令和元年度では11.4%と少なくなっているため、子育てに係る負担軽減や不安解消が図られている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	現在の取り組みを引き続き進めながら地域の子育て力を向上させ、利用者からの意見等も取り入れることでよりよい事業の実施形態の検討を行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	福祉課こども福祉係	NO	38
成果指標	D 地域の子育て支援の環境や支援の不満度【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1)結婚、子育てに関する若者への支援(2)子育てと仕事の両立支援(3)子育て家庭を支援する環境づくり(4)地域・社会全体で子育てを支える意識・環境づくり						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	26.0%(就業前)、23.8%(小学校)	23.2%(就業前)、21.6%(小学校)	20.4%(就業前)、19.4%(小学校)	17.7%(就業前)、17.2%(小学校)	15.0%(就業前)、15.0%(小学校)
実績値	-	-	-	不明	-

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	-
取組内容(5年間でどのように進めようとしたのか?)	平成30年度に行った子育てに関するニーズ調査では当該の調査を行っていないため目標値に対する実績値や達成度は記載できないが、地域子育て支援センターをはじめとする支援策の充実に努めた。		
取組実績(5年間で何をを行うことができたか?)	地域子育て支援センターにおいて各種相談業務や広場の提供などの育児支援活動に取り組んできた。		
総括(5年間取り組んできたの分析・総括)	通常の保育園の利用で充足している地区もあるが、地域子育て支援センターが子育てをする親の支援に繋がる重要な施設であるため、事業を継続していく。		
方向性(今後はどのように取り組んで行くか)	地域子育て支援センターは、保育園入園までの居場所として育児の相談や指導を行う有効な場所であることから、今後とも利用促進を図るとともに、よりよい事業の実施形態の検討を行う。		

備考	子育てに関するニーズ調査で当該の調査を行っていないため目標値に対する実績値や達成度は記載できない。
----	---

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	福祉課こども福祉係	NO	39
成果指標	E 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1)結婚、子育てに関する若者への支援(2)子育てと仕事の両立支援(3)子育て家庭を支援する環境づくり(4)地域・社会全体で子育てを支える意識・環境づくり						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	41.5%	43.6%	45.8%	50.0%	50.0%
実績値	67.6%	66.7%	59.7%	65.9%	56.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:76人

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	113.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	待機児童や子どもの貧困、児童虐待などの社会環境の変化に対応しながら、子ども・子育てに関する各種施策や事業の実施に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	平成26年度策定の「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」により、地域子ども・子育て支援事業に取り組んできた。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	全ての年度において実績値が高く、これまでの取組みが成果として表れている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	「子育てしにくい」という声も1割程度あることから、幅広く意見を取り入れながら、よりよい政策を研究していく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	総務課総務係	NO	40
成果指標	A 市の審議会、委員会等への女性参画率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民への意識啓発 (2) 事業所における取組推進 (2) 事業所における取組推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	48.0%	30.5%	31.0%	31.5%	32.0%
実績値	29.7%	30.1%	32.0%	26.3%	25.7%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	80.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	各種委員の委員改選時にできるだけ女性登用を図るよう協力依頼した。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	市の審議会、委員会等へ女性の登用については依頼するもなかなか承諾いただけない状況である。目標値には及ばなかったが参画率向上を目的に女性管理職による意見交換を行い今後の取組等について検討した。		
総括 (5年間取り組んできての分析・総括)	女性への各種委員の依頼は、退職後や子育て終了後等平日活動可能な方に依頼する機会が多いが、女性は家事や介護、孫の世話等で多忙なため断られる場合が多い。また、社会情勢の変化により委員の改廃も頻繁で、近年は各種委員数が増加傾向にあり、女性委員の人数は変化しなくても割合が下がる傾向にある。なお、本調査の対象ではないが、婦人会員をはじめ市行政に関わる各種任意団体等へ所属する女性の活躍は大きいと思われる。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	引き続き庁内会議を開催するとともに、各部署へ女性委員の登用に努めるよう働きかける。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	総務課総務係	NO	41
成果指標	B 市役所における女性管理職員の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民への意識啓発 (2) 事業所における取組推進 (2) 事業所における取組推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	3. 9%	5. 4%	7. 0%	8. 5%	10. 0%
実績値	3. 1%	3. 1%	4. 3%	4. 6%	4. 39%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	43.9%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	男女共同参画のもと女性職員の管理職登用を押し進めてきた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	H28年度に女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定した。現状を分析する中でH30、H31には時間外の抑制、男性職員の育児休暇等取得の促進等行っている。また、R元年度末には女性管理職の意見交換会を開催するなど女性登用のための体制整備に取り組んだ。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	数字的な面では横ばいの現状である。早期退職を希望する女性職員も少なくない。女性職員も男性と同様に管理職になる体制づくりと意識改革が必要と考える。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	R元年6月の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」改正に伴い、北秋田市の特定事業主行動計画を見直し、女性管理職の登用を促進するため、引き続きより働きやすい環境づくり等の組織構築に努めるとともに若手女性職員の育成及び意識改革に取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標3 少子化対策	担当部署	生活課地域推進係	NO	42
成果指標	C 女性就業率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民への意識啓発 (2) 事業所における取組推進 (2) 事業所における取組推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	41.8%	42.2%	42.6%	43.0%	43.4%
実績値	-	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	99.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	北秋田市男女共同参画計画に基づき、男性と女性がともに支えあう地域づくりについて理解を深めるため、男女共同参画社会づくり講座を開催。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	北秋田市男女共同参画計画に基づき、男性と女性がともに支えあう地域づくりについて理解を深めるため、男女共同参画社会づくり講座を開催した。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	男女共同参画の理念が浸透してきていると思われる。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	今まで参加できていない人や職場からも参加できるよう、講座のPR、内容の精査を進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生活課地域推進係	NO	43
成果指標	I 地域が住みやすいという市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	4-① 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立、4-② 生涯学習の充実、4-③ 住環境の整備、4-④ 雪対策の充実、4-⑥ 地域防災体制の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	70.2%	72.1%	74.1%	76.0%	78.0%
実績値	71.1%	68.5%	69.6%	66.4%	67.5%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	86.5%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	自治会活動の活性化を図るため、自治会館整備事業・防犯街灯整備事業・コミュニティ助成事業など各種支援。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	自治会活動の活性化を図るため、自治会館整備事業・防犯街灯整備事業・コミュニティ助成事業など各種支援を行った。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になってきている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	自治会支援施策の継続。令和 2 年度から防犯街灯電気料の支援、ごみ集積所整備の支援を新たに開始。（ごみ集積所支援は、環境係）		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生活課地域推進係	NO	44
成果指標	A 集落の自立活性化（元気ムラ）活動に取り組む自治会の数【累計】						
取組方針 施策の方向性	（１）地域と行政との協働の推進（２）地域活動の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	7 団体	8 団体	9 団体	10 団体	11 団体
実績値	6 団体	7 団体	8 団体	8 団体	8 団体

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	72.7%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	地域コミュニティ政策推進会議「元気村」と連携しながら自立活性化に取り組む自治会・町内会を支援。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	地域コミュニティ政策推進会議「元気村」と連携しながら自立活性化に取り組む自治会・町内会の増加に向け活動を市内自治会に向け紹介。		
総括（5年間取り組んできての分析・総括）	集落の自立活性化（元気ムラ）活動に取り組む自治会数が頭打ちとなっている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	地域コミュニティ政策推進会議「元気村」と連携しながら自立活性化に取り組む自治会・町内会の増加に向け、他地域の活動を市内自治会に向け紹介。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生活課地域推進係	NO	45
成果指標	B 活発に活動が行われている自治会（町内会）の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域と行政との協働の推進 (2) 地域活動の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	3 1. 7%	3 2. 5%	3 3. 3%	3 4. 1%	3 5. 0%
実績値	4 2. 6%	6 4. 7%	6 5. 0%	6 3. 6%	6 6. 8%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	190.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	自治会活動の活性化を図るため、自治会館整備事業・防犯街灯整備事業・コミュニティ助成事業など各種支援。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	自治会活動の活性化を図るため、自治会館整備事業・防犯街灯整備事業・コミュニティ助成事業など各種支援を行った。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になってきている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	自治会支援施策の継続。令和 2 年度から防犯街灯電気料の支援、ごみ集積所整備の支援を新たに開始。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生活課地域推進係	NO	46
成果指標	C 地域活動に何か参加している市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域と行政との協働の推進 (2) 地域活動の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	70.4%	71.6%	72.8%	73.9%	75.0%
実績値	63.1%	67.9%	70.3%	65.0%	67.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	89.6%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	自治会活動の活性化を図るため、自治会館整備事業・防犯街灯整備事業・コミュニティ助成事業・市民提案型まちづくり事業など各種支援。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	自治会活動の活性化を図るため、自治会館整備事業・防犯街灯整備事業・コミュニティ助成事業・市民提案型まちづくり事業など各種支援を行った。		
総括 (5年間取り組んできての分析・総括)	少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になってきている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	自治会支援施策の継続。令和 2 年度から防犯街灯電気料の支援、ごみ集積所整備の支援を新たに開始。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	47
成果指標	A 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域づくりにつながる社会教育 (2) 北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 (3) 学びの場・発表の場の提供 (4) 児童・生徒の学校外の学習・交流推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	46,392人	49,018人	51,644人	54,270人	56,900人
実績値	44,114人	53,689人	66,114人	67,859人	61,000人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	107.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	施設の充実（中央公民館→市民ふれあいプラザへの建替え）、冷暖房費無料化などによる利用促進。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	各種団体への使用料減免措置など活動促進・支援や、子育て世代支援スペース（ねまーる広場）での施設利用者子息一時預かり、ハローキティを活用した館内装飾など。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	音楽スタジオなど近隣類似施設に無い設備により若年層の利用が促進されたほか、ねまーる広場の整備により子育て世代の来館も増加した。フリースペースを広く取った事で自由来館者が増加し、施設の宣伝に繋がった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	既に予約困難なほど利用率は高い。利用者の要望やにぎわいづくり委員会での意見を取り入れ更なる充実を目指す。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	48
成果指標	B 自主講座への移行数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域づくりにつながる社会教育 (2) 北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 (3) 学びの場・発表の場の提供 (4) 児童・生徒の学校外の学習・交流推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	20 講座	30 講座	40 講座	10 講座	10 講座
実績値	15 講座	17 講座	4 講座 (単年度実績)	4 講座	6 講座

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	60.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	北秋田市民ふれあいプラザ及び各公民館等における学びや市民活動の拠点づくり・高齢者大学や公民館講座の開設による学びの場、発表の場の提供・出前講座の実施等による学習機会の充実。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	学習や市民活動を促進するための高齢者大学や公民館講座の開設、施設使用料減免措置による活動促進・支援、文化祭や生涯学習フェスタ等発表の場の提供。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	各公民館において地域の特色や多様な分野を取り入れた講座を展開することで、新たな学習者の掘り起こしと自主サークル化に結び付いた事例もあったが、多くは学習の自立化までの意識付けには至らず、目標としている数値には届かなかった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	魅力ある学習内容の企画はもちろん、単に学習するだけでなく学んだ成果を地域でどう活用し、学習者を地域づくりに導くことができる講座運営と専門知識を有する職員（社会教育主事）の養成・配置の推進。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	49
成果指標	C 自主講座の講師を担当する市民の数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域づくりにつながる社会教育 (2) 北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 (3) 学びの場・発表の場の提供 (4) 児童・生徒の学校外の学習・交流推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	362人	127人	139人	133人	141人
実績値	115人	117人	62人	79人	157人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	111.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	北秋田市民ふれあいプラザ及び各公民館等における学びや市民活動の拠点づくり・高齢者大学や公民館講座の開設による学びの場、発表の場の提供・出前講座の実施等による学習機会の充実。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	生涯学習の拠点として、幅広い年代の自由な交流や市民活動の場となる「北秋田市民ふれあいプラザ」の整備及び学習や市民活動を促進するための高齢者大学や公民館講座の開設、文化祭や生涯学習フェスタ等発表の場の提供。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	市民ふれあいプラザの整備により、幅広い年代の学習・市民活動に最適な施設や設備の充実が図られたことで、自主的に活動するサークル等が増加した。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	市民ふれあいプラザ及び各公民館において、利用者や審議会等の要望・意見を取り入れた学習環境の更なる充実を図るほか、学習者のニーズや地域課題に応じた講座の開催・支援により主体的な活動を促進する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	50
成果指標	D 知識や教養、趣味等自発的に学習する市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域づくりにつながる社会教育 (2) 北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 (3) 学びの場・発表の場の提供 (4) 児童・生徒の学校外の学習・交流推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	62.4%	63.1%	63.7%	64.4%	65.0%
実績値	74.6%	59.8%	58.9%	58.2%	57.9%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	89.1%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	北秋田市民ふれあいプラザ及び各公民館等における学びや市民活動の拠点づくり・高齢者大学や公民館講座の開設による学びの場、発表の場の提供・出前講座の実施等による学習機会の充実。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	北秋田市民ふれあいプラザを拠点として、学習や市民活動を促進するための高齢者大学や公民館講座の開設、文化祭や生涯学習フェスタ等発表の場の提供・出前講座の実施による学習機会の充実。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした学びの場、発表の場づくりの充実により、特に鷹巣地区においては自発的に学習する市民の割合が増加傾向を見せている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	各公民館で地域課題や住民ニーズに応じた魅力ある講座の展開等による学びの機会の充実はもちろん、施設整備や運営の適正化により、ソフト・ハード両面において学びの場の環境整備を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	51
成果指標	E 学校支援地域コーディネーター数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域づくりにつながる社会教育 (2) 北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 (3) 学びの場・発表の場の提供 (4) 児童・生徒の学校外の学習・交流推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	36人	35人	36人	37人	39人
実績値	34人	33人	32人	32人	32人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	82.1%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	児童・生徒の育成を学校だけではなく「地域ぐるみ」で行うことを目標に、学校と地域人材・ボランティアを連携させるコーディネートを推進する。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	学校支援活動をベースに、コーディネーターが学校とのパイプ役を担い、平成 29 年度、「地域学校協働活動」への移行をスムーズに行った。令和元年度は 6 校が「学校運営協議会制度」を導入した。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	各地域の実情を把握している地域コーディネーターの尽力により、各校が特色のある「地域学校協働活動」を展開できた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	「学校運営協議会制度」を全校が導入することにより、コーディネーターは「地域学校協働活動推進員」として、これまで以上に学校運営に参画していく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	52
成果指標	F 学校支援地域ボランティア数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域づくりにつながる社会教育 (2) 北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 (3) 学びの場・発表の場の提供 (4) 児童・生徒の学校外の学習・交流推進						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	608人	20,350人	20,900人	21,450人	22,000人
実績値	19,800人	20,655人	21,680人	21,920人	22,490人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	102.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	学校、地域コーディネーターが中心となり、「学校支援」「地域学校協働活動」「学校運営協議会制度導入」への理解を得ながら、協力者を増やす。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	学習支援、環境整備、地域行事・活動、学校ふれあい展（第二の公民館）、児童・生徒のボランティア活動支援ほか、公民館活動やサークル活動も含め協力する市民が増えた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	学校教育への協力体制が強化され、地域のなかで人を育てるという市民意識が広がってきた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	児童・生徒と共に学ぶことにより、市民の教育力も高め、大人の人材育成を図りながら、学校を拠点とした元気なまちづくりを継続する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	都市計画課都市計画住宅係	NO	53
成果指標	A 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市営住宅の整備(老朽化対策、維持管理)(2) 空き屋対策(3) 居住環境の向上(4) 都市公園等の管理						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	39.2%	49.4%	59.6%	69.8%	80.0%
実績値	38.2%	43.4%	46.3%	48.3%	58.5%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度(令和 2 年度)時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	73.1%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	北秋田市営住宅建替基本計画や北秋田市住生活基本計画に基づき、公営住宅の建替や既存市営住宅のバリアフリー改修など計画的な改修・改善を行う。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	建替住宅については全戸バリアフリー化を実施。既存住宅については、建替計画のない住宅から随時バリアフリー化を実施。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	住宅入居者の高齢化率が高いことから全戸バリアフリー化を望むものの住宅整備事業補助金等の予算面で計画通りの改修はできなかった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	北秋田市営住宅建替基本計画を基に計画的に建替を行い、また、既存住宅の改修については第2期長寿命化計画作成のもと、順次改修をすすめる。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	都市計画課都市計画住宅係	NO	54
成果指標	B 公営住宅等の入居率（入居戸数／全戸数）【累計】						
取組方針 施策の方向性	（１）市営住宅の整備（老朽化対策、維持管理）（２）空き屋対策（３）居住環境の向上（４）都市公園等の管理						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90.4%	92.8%	95.2%	97.6%	100%
実績値	86.9%	85.4%	83.2%	85.0%	77.9%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	77.9%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	維持保全、改修に努めながら、入居率向上を図る。管理上、著しい老朽化により募集を停止している住宅については、用途廃止等も検討していく。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	年度毎に団地単位で外壁改修や屋根の葺替、バリアフリー改修などを行った。		
総括 （5年間取り組んできたの分析・総括）	建物の老朽化や住宅設備の不備、立地や利便性などに左右され、団地によっては募集してもなかなか応募がない状況である。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	管理上、著しい老朽化により募集を停止している住宅については、用途廃止等も検討していく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	総務課危機管理係	NO	55
成果指標	C 空き家率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市営住宅の整備(老朽化対策、維持管理)(2) 空き屋対策(3) 居住環境の向上(4) 都市公園等の管理						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%
実績値	15.3%	不明	不明	不明	—

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	—
取組内容(5年間でどのように進めようとしたのか?)	空家に対する情報提供依頼(空家バンク・移住定住)があった場合は、連携を取り情報提供につとめた。また、空家等の状況に応じ所有者等に対し情報提供を行い危険防止に取り組んだ。		
取組実績(5年間で何をを行うことができたか?)	空家等の状況に応じた所有者等に対する情報提供及び助言等により問題の解消を図った。		
総括(5年間取り組んできた分析・総括)	所有者等に対する情報提供及び助言等により問題の解消を図ることができた案件がある一方で、解消に至らない案件及び所有者特定に至らない案件がある。		
方向性(今後はどのように取り組んで行くか)	問題の解消に至らない案件については、引続き対応するとともに文書による通知等により問題解決に向けて取り組んでいきたい。		

備考	【目標値の修正】所有者等自らの措置対応、行政による措置対応が図られた割合等を検討する。
----	---

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	都市計画課都市計画住宅係	NO	56
成果指標	D 住宅耐震化率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市営住宅の整備（老朽化対策、維持管理）(2) 空き屋対策 (3) 居住環境の向上 (4) 都市公園等の管理						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	69.4%	63.0%	64.0%	65.0%	66.0%
実績値	62.0%	62.0%	62.0%	62.0%	62.0%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	93.9%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	耐震改修等補助金の活用により経費負担の軽減を図り耐震改修を進め、耐震化率の向上につなげていく。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	毎年度、市内全体の住宅における耐震化率の把握は困難である。5か年の耐震計測値は H25 年度の統計調査を基にした推計値である。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	この統計調査は5年毎に行われるものであり、H30 年度に予定されている調査結果までは同数値を実績値とする。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	H30 年度の調査結果を踏まえ、耐震化率向上のため検討を進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	都市計画課都市計画住宅係	NO	57
成果指標	E 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市営住宅の整備（老朽化対策、維持管理）(2) 空き屋対策 (3) 居住環境の向上 (4) 都市公園等の管理						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	2 か所	3 か所	3 か所	4 か所	4 か所
実績値	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	50.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	自治会内に設置されている都市公園について、自治会に委託することで年間を通じて維持管理され、環境保全につなげていく。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	4 か所ある公園について地元自治会に委託要請したところ、2 公園については了解を得たことから、委託費として予算を計上。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	維持管理を地元自治会に委託したことにより、年間を通じて公園の環境美化に取り組むことができた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	自治会による協力が得られない 2 公園については、改めて自治会長や役員に趣旨説明を行い、合意が得られるよう進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	建設課管理係	NO	58
成果指標	A 自宅の除雪について特に困っていない市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 除雪体制の強化 (2) 高齢者・障がい者への除排雪支援 (3) 地域との連携による除雪						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	21.8%	22.6%	23.4%	24.2%	25.0%
実績値	32.6%	27.4%	25.3%	23.3%	20.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	81.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	老朽化している除雪機械を更新し、きめ細やかな除排雪に努めるとともに、要望等に対し迅速な対応を実施する。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	ドーザ5台、ロータリ5台、グレーダ4台、凍結防止剤散布車2台を更新した。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	計画に基づき、更新しているが、積雪量や降雪時間帯により成果目標値が大きく左右される。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	今後も計画に基づき更新を進め、きめ細やかな道路除排雪に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係	NO	59
成果指標	B 自治会や近所の方と協力して（間口や）道路、歩道、自治会館やゴミ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	（１）除雪体制の強化（２）高齢者・障がい者への除排雪支援（３）地域との連携による除雪						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	37.7%	39.5%	41.4%	44.1%	45.0%
実績値	33.0%	42.2%	42.3%	37.9%	40.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	90.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	高齢化が進み、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加、自治会組織の高齢化など、地域の除雪対策は深刻化していることから、地域の支え合いの重要性の周知を図り、その仕組みづくりを進める。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	高齢者の冬期間の在宅生活を支援する「福祉の雪事業」を進めるにあたって、自治会組織への「事業者登録」の継続依頼と民生委員説明会での「地域の担い手探し」を繰り返しお願いしてきた。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	調査結果から、行っている人の割合が鷹巣地区 28.8%に対し阿仁地区は 61.1%と地域により大きな差がある。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	地域包括ケアシステムの地域づくり事業の動向を見ながら、自治会（町内会）や民生委員の活動内容の特色を把握し、地域に合った地域助け合い除雪取り組みを進めていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係	NO	60
成果指標	C 地域除排雪支援団体（仮）の組織数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 除雪体制の強化 (2) 高齢者・障がい者への除排雪支援 (3) 地域との連携による除雪						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1団体	7団体	8団体	9団体	10団体
実績値	6団体	8団体	8団体	8団体	5団体

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	50.0%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	高齢者の冬期間の在宅生活を支援する「福祉の雪事業」を進めるにあたって、自治会組織への「事業者登録」の継続依頼と新規登録を増やすため、各窓口センター担当と共に自治会への呼びかけや地域の担い手探しを進める。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	高齢化が進み、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加、自治会組織の高齢化など、地域の除雪対策は深刻化していることから、地域の冬期間の在宅生活を支援する「福祉の雪事業」を進めるにあたって、自治会組織への「事業者登録」の継続依頼と民生委員説明会での「地域の担い手探し」を繰り返しお願いしてきた。		
総括 （5年間取り組んできての分析・総括）	事業者登録をしていた自治会組織の中には、除雪作業対象者が1～2人の地区もあった。この対象者の利用中止や、自治会名から個人登録業者への変更があり、数値は半減している。もともとの組織ぐるみの自治会組織5団体は活動を継続している。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	地域の除雪体制づくりは、自治会組織に限定せず、個人登録者の積み上げにも力を入れる。地域包括ケアシステムの地域づくり事業の動向を見ながら、自治会（町内会）や民生委員の活動内容の特色を把握し、地域に合った地域助け合い除雪取り組みを進めていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	内陸線再生支援室	NO	61
成果指標	A 秋田内陸線の乗車人数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 秋田内陸線の利用促進 (2) バス路線・デマンド型乗合タクシーの再編・利用促進 (3) 大館能代空港等の活用						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	3 2 5, 3 9 6人	3 3 4, 0 4 7人	3 4 2, 6 9 8人	3 5 1, 3 4 9人	3 6 0, 0 0 0人
実績値	3 1 2, 1 0 6人	2 8 4, 1 9 7人	2 7 5, 5 8 7人	2 6 0, 8 3 7人	2 6 1, 4 9 6人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	72.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	秋田県、北秋田市、仙北市との連携による利用者増への取り組み・通学定期券補助や地域イベントなどによる利用促進・内陸線駅愛護会、沿線の支援団体や自治会との連携による利用促進に向けた活動・各種イベントへの参加や旅行会社等へのPR活動の実施など。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	秋田内陸地域公共交通連携協議会を軸とした各種イベントの開催や情報発信を継続的に展開・高校生等への通学定期券補助や貸切車両補助、保育園利用補助など利用者への支援を実施。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	沿線エリアの人口減少と少子化に歯止めが掛かっておらず、沿線地域の利用者は減少傾向が続いていることから、地域外（国内外）からの利用者の誘致が不可欠となっている。・外国人団体客については、年々増加しており、令和元年度においては、3万人を超える状況となっている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現在の事業を継続し、また新規事業を模索し更なる利用者増を目指す取り組みやSNSを活用し、国内外からの誘客を図る取り組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	総合政策課政策係	NO	62
成果指標	B 路線バス・デマンドタクシーの輸送人員数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 秋田内陸線の利用促進 (2) バス路線・デマンド型乗合タクシーの再編・利用促進 (3) 大館能代空港等の活用						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	240,000人	240,000人	240,000人	240,000人	240,000人
実績値	198,108人	169,399人	149,428人	141,967人	138,739人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	57.8%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	運行路線の再編統合、交通空白地域の解消、待合環境の整備、利用促進の取組など。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	北秋田市地域公共交通網形成計画策定、路線の再編、利用促進のためのバスマップ全戸配布及びイベント実施、循環バス本格運行による買い物弱者・高齢者対策、市民病院待合環境整備、交通空白地域対策。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	路線再編、交通空白地域解消、利用促進活動を行ったが、人口減少及び少子化等による利用者の減少率は著しく、目標達成は不可能であった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	買い物弱者・高齢者対策として実施した循環バスについてはその効果が証明されており、市内各地域での運行を含め、既存路線の再編と様々な交通モードの導入を含めた市全体の再編実施計画を策定し、持続可能な公共交通に向け取り組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	総合政策課政策係	NO	63
成果指標	C 大館能代空港利用者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 秋田内陸線の利用促進 (2) バス路線・デマンド型乗合タクシーの再編・利用促進 (3) 大館能代空港等の活用						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	121,606人	123,705人	125,803人	142,000人	145,000人
実績値	123,773人	131,517人	138,584人	150,570人	148,761人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	102.6%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	利用促進協議会との連携による利用者増への取組み・利用者の費用負担への支援・旅行会社等へのPR活動など。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	利用促進協議会と連携した各事業（圏域の翼、企業ファンクラブ）・冬期間の利用促進助成金による利用者支援・ふるさと大使ハローキティを活用した空港内の装飾・旅行会社への訪問活動や旅行商品造成支援補助金の創設による支援。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	地元住民、地元企業、観光客、旅行会社など様々なターゲットに対する利用促進活動を行ったことにより、利用者数は毎年増加させることができました。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	現在の事業の継続によるさらなる利用者増を目指すとともに、東京便の増便への取組みやチャーター便、LCCの導入についての検討を進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	総務課危機管理係	NO	64
成果指標	A 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民の防災意識の向上 (2) 自主防災組織結成の促進、組織の充実 (3) 関係機関との連携強化による実践力の向上 (4) 要配慮者の避難支援 (5) 減災への取組						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	52.5%	54.4%	56.2%	58.1%	60.0%
実績値	46.6%	54.8%	49.5%	58.0%	50.0%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	83.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	防災に関する情報提供を広報誌・HP・防災ラジオ・出前講座など複数の媒体で行い、様々な準備をしていただくよう取り組んだ。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	防災に関する情報提供を広報誌・HP・防災ラジオ・出前講座など複数の媒体で行った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	全国各地での災害の発生、また、防災に関する情報提供を複数の媒体で行った結果、災害に備えて何かしらの準備をしている市民の割合が増加していると思われる。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	引き続き、防災に関する情報提供を広報誌・HP・防災ラジオ・出前講座など複数の媒体で行っていき、様々な準備をしていただくよう取り組んでいきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成	担当部署	総務課危機管理係	NO	65
成果指標	B 防災情報メール登録者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民の防災意識の向上 (2) 自主防災組織結成の促進、組織の充実 (3) 関係機関との連携強化による実践力の向上 (4) 要配慮者の避難支援 (5) 減災への取組						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2,090人	2,442人	2,795人	3,147人	3,500人
実績値	1,938人	1,967人	2,083人	2,139人	2,197人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度(令和2年度)時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数:

担当部署による評価・検証(自己分析)

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	62.8%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	個人が所有する携帯端末へ災害時等に有益な情報を伝える有効な手段として、広報誌・HP・防災ラジオ・出前講座など複数の方法で周知を図った。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	防災情報メール登録のための情報提供を広報誌・HP・防災ラジオ・出前講座など複数の媒体で行った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	テレビ・ラジオ・インターネット・携帯防災アプリ等による情報伝達の多様化により登録者が増えていかないと思われる。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	防災情報メールは、個人が所有する携帯端末へ災害時等に有益な情報を伝える有効な手段として考えていますので、引き続き広報誌・HP・防災ラジオ・出前講座など複数の方法で周知を図っていきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合戦略	基本目標	基本目標 4 新たな地域社会の形成	担当部署	総務課危機管理係	NO	66
成果指標	C 自主防災組織の結成数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民の防災意識の向上 (2) 自主防災組織結成の促進、組織の充実 (3) 関係機関との連携強化による実践力の向上 (4) 要配慮者の避難支援 (5) 減災への取組						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50 団体	70 団体	90 団体	110 団体	129 団体
実績値	32 団体	35 団体	38 団体	40 団体	42 団体

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	32.6%
取組内容 (5 年間でどのように進めようとしたのか?)	自主防災組織において大切な自助・共助について、出前講座等により情報発信し、市民の理解を深めながら結成数増加に努めた。		
取組実績 (5 年間で何をを行うことができたか?)	自主防災組織結成のための情報提供を広報誌・HP・出前講座など複数の方法で行った。		
総括 (5 年間取り組んできての分析・総括)	自主防災組織の結成には、自治会員等の総意によることが前提となることから、高齢者等が多くなった自治会等においては結成が難しいものと感じられているように思われる。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	自主防災組織において大切な自助・共助について、災害の発生した現地へ行った消防本部と一緒に出前講座等を実施し、市民の理解を深めながら結成数増加に努めていきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課地域医療対策室	NO	67
成果指標	ア 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域医療体制の充実 (2) へき地診療の充実 (3) 北秋田市民病院の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%
実績値	59.7%	62.1%	60.5%	57.4%	61.4%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	97.5%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	超高齢化社会において病気になっても安心して暮らせるよう、一次医療の確保と在宅医療提供体制の推進に取り組んだ。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	市内医療機関等と連携し年間を通じて夜間初期救急医療を実施したほか、在宅医療の要である訪問看護サービス事業者へ運営費の支援を行い遠隔地利用者への安定したサービスの提供を行うことができた。また、一次医療確保として、地域医療確保促進事業補助金制度を創設し、新規開業事業所や現開業医への医療機器等の整備に対する補助を実施し、1件の新規事業所の開業と市内開業医の半数以上で医療機器等の整備が図られた。。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	初期救急医療体制の確保、訪問看護体制の充実及び一次医療機関の整備等により、市民の安全安心な暮らしの実現につなげることができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	高齢化の進展や生活圏域が広く山間地域という当市の状況において、地域の中核病院である市民病院の医療サービス向上に努めるとともに、一次医療確保と在宅医療診療体制の充実により一層の努力をしていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課地域医療対策室	NO	68
成果指標	イ 市民病院の常勤医師数※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域医療体制の充実 (2) へき地診療の充実 (3) 北秋田市民病院の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	22人	22人	22人	22人	22人
実績値	18.72人	19.855人	18.98人	21.68人	22.5人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	102.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	医師充足率を 100%とするため、目標値を 22 人に設定し、秋田大学医学部及び県に対する医師派遣の要請及び常勤医師奨励金制度を実施し医師確保に取り組んだ。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	常勤医師数が平成 30 年度に 2 名、平成 31 年度に 1 名の増員となり、また非常勤医師も秋田大学医学部からの診療応援の追加協力もあり、平成 30 年 4 月 1 日から医師充足率が 100%を超える状況となった。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	指定管理者と連携した秋田大学医学部及び県に対する医師派遣の要請活動等や常勤医師奨励金制度の実施により、常勤医師数等が増加したことで、長く課題であった医師充足率が平成 30 年度から 100%を超える状況となり、診療体制の拡充が図られた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	充足率は 100%を超える状況となったが、常勤医がいない診療科や全科において医師が充足しているわけではないことから、引き続き、医師確保の取り組みとして秋田大学医学部及び県に対する要請や、常勤医師奨励金制度を継続していく。		

備考	医師充足率の算定期：令和 2 年 3 月 1 日
----	--------------------------

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課地域医療対策室	NO	69
成果指標	ウ 北秋田市民病院満足度（職員の対応）						
取組方針 施策の方向性	（１）地域医療体制の充実（２）へき地診療の充実（３）北秋田市民病院の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
実績値	87%	89.7%	87.0%	96.4%	91.5%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：107

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	107.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	市民病院利用者に喜ばれる病院となるよう、利用者満足度アンケート調査結果における高い水準を目指し、待ち時間短縮への対応や職員の接遇向上に取り組んだ。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	待ち時間対策として、心理的な負担を軽減するため、外来に設置したモニターによる診察の進捗状況表示や待合へのテレビ設置、県補助金を活用したみんなの本棚設置、バス停の整備をを行ったほか、直接的な待ち時間の短縮として、多くの診療科に予約制を取り入れ、再来患者への診療予約の推進を行った。また、接遇向上の取り組みとして、接遇委員会を立ち上げ、研修会の開催やあいさつ運動の実施、日々の積極的な声かけ等の活動を行った。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	医師、看護師、事務職員の対応についての利用者満足度アンケート調査結果は、何れも目標値を上回り、県内の他の厚生連病院の平均値と比較しても近い数値となり、改善が図られた。また、待ち時間については、徐々に改善されてきてはいるが、「やや負担・負担」と感じる利用者が3割近くいることから、今後も病診連携によるダブル主治医制の推進及び院内環境整備により一層努めなければならない。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	市民病院の運営については、開設以来、指定管理者と運営連絡協議会を設置し、運営に関する課題等について協議してきているほか、事務レベルにおいても、日々の業務における諸問題等について、情報交換しながら協力し対応に当たってきている。今後も市民病院を利用する多くの方が快適な環境で医療サービスを受けられるよう、連携し取り組んで行く。		

備考	利用者満足度アンケート実施日：令和元年 8 月
----	-------------------------

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	70
成果指標	ア 健診受診率（特定健診）						
取組方針 施策の方向性	（１）健康づくり推進のための地域等との連携（２）特定健康診査・特定保健指導・後期高齢者健康診査（３）がん対策の強化（４）感染症対策・予防接種の推進（５）地域における健康相談・健康教育の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	26.1%	26.0%	26.9%	28.2%	30.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：1725

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	50.2%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	受診勧奨通知や詳細項目の追加など健診内容を充実し受診率向上に努めた。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	30年度からは医療機関からの情報提供を勧め医療機関での受診も特定健診とみなし受診数増加につながった。		
総括 （5年間取り組んできての分析・総括）	特定健診受診率は、社会保険加入者の受診率は高いが、国保加入者は低い傾向にある。国保の特定健診受診率はわずかながら増加しているが目標には達成しなかった。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	国保係と連携し機会を捉え受診勧奨を行う。国保の補助事業を活用し未受診者対策としてタイプ別にアプローチする。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	71
成果指標	イ がん検診受診率（5 大がん検診受診率の平均）						
取組方針 施策の方向性	（１）健康づくり推進のための地域等との連携（２）特定健康診査・特定保健指導・後期高齢者健康診査（３）がん対策の強化（４）感染症対策・予防接種の推進（５）地域における健康相談・健康教育の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	20.1%	8.36%	8.2%	9.1%	8.9%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：8110

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	17.8%
取組内容（5 年間でどのように進めようとしたのか？）	コールリコールによる未受診者への受診勧奨や無料クーポン配布などを行い受診勧奨に努めた。		
取組実績（5 年間で何をを行うことができたか？）	検診受診率は年々減少しており、特に婦人科検診の減少が著しい。婦人科検診については検診医療機関の拡大など受診の機会を増やした。		
総括（5 年間取り組んできた分析・総括）	受診者の高齢化もあり、がん検診受診数が減少している。受診数が減少することで検診会場数も減り検診機関の協力が得にくい状況にある。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	未受診者対策として検診受診率向上のために若い年代の受診率増加を図る。SNS や広報、広報無線の活用、お得なキャンペーンなど新たな対策を展開していく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	72
成果指標	ウ メタボリックシンドロームとその予備軍の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 健康づくり推進のための地域等との連携 (2) 特定健康診査・特定保健指導・後期高齢者健康診査 (3) がん対策の強化 (4) 感染症対策・予防接種の推進 (5) 地域における健康相談・健康教育の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	20.9%	20.9%	20.9%	20.9%	20.9%
実績値	13.5%	12.0%	13.4%	11.5%	12.8%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：220

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	163.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	特定保健指導の参加をすすめメタボ予備群の減少を図った。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	特定保健指導の充実を図りプールを利用した運動教室の開催、食事指導など個々に応じたメニューを展開した。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	個々に応じた保健指導を実施し一定の効果をあげることができたが、例年対象となり改善が見られなかった方もいた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	目標値は達成したが北秋田市健康宣言では 10%以下を目指しており今後も効果的な保健指導に取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	73
成果指標	エ 自分のことを健康だと思ふ市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 健康づくり推進のための地域等との連携 (2) 特定健康診査・特定保健指導・後期高齢者健康診査 (3) がん対策の強化 (4) 感染症対策・予防接種の推進 (5) 地域における健康相談・健康教育の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	69.3%	61.7%	60.0%	70.5%	68.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	97.6%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	保健事業計画に沿って事業をすすめた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	保健事業計画に沿って事業を実施した。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	健診や健康教室、介護予防事業を実施し健康を保持できるよう支援した。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	個々のニーズを把握し、関係機関とも連携し事業に取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	1 健康で仕事にはげむ活力あるまちづくり	担当部署	医療健康課健康推進係	NO	74
成果指標	オ 健康診断を受けている市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 健康づくり推進のための地域等との連携 (2) 特定健康診査・特定保健指導・後期高齢者健康診査 (3) がん対策の強化 (4) 感染症対策・予防接種の推進 (5) 地域における健康相談・健康教育の推進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	-	19.8%	20.2%	20.9%	20.9%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：2865

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	41.8%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	健診の重要性を周知し、受診勧奨に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	一般健診対象の拡大、ドック内容の追加、受診医療機関を追加し受診の機会を増やした。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	ドック助成や無料クーポン券発行、健康ポイント事業を導入し受診をすすめ健康意識改善を図った。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	健康ポイント制度や健康長寿人材育成を継続し健康意識の改善を図る。SNS や広報、広報無線の活用など新たな対策を展開していく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	75
成果指標	ア 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域福祉の在り方検討 (2) 生活困窮者の自立支援 (3) 民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体との連携促進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	20人	20人	20人	20人	20人
実績値	23人	24人	35人	43人	55人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	275.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	自立支援事業の実施（社会福祉協議会への委託）、弁護士やハローワークなど関係機関との支援方法等を行う月1回の意見交換（支援調整会議）の実施。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	自立支援制度に関わる各種相談受付、就労支援、家計相談支援。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	平成 27 年の生活困窮者自立支援制度開始直後と比較すると相談の受付数は横ばい傾向ではあるが、制度利用の継続は図られている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	潜在的な要支援者に向けた制度の周知の強化と、就労プラン作成からの一般就労へつながる人の増加に取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	76
成果指標	イ ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】						
取組方針 施策の方向性	（１）地域福祉の在り方検討（２）生活困窮者の自立支援（３）民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体との連携促進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	151人	151人	151人	151人	151人
実績値	6人	14人	21人	32人	47人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	31.1%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	当事者の会である「きたきた希望の会」（社会福祉協議会）や若者自立サポーターの会「くまっこ」などの会を開催し、少しずつ社会参加することを目指した。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	少数ではあるが、ひきこもりの状況から当事者の会やサポーターの会へ参加する人が出てきている。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	当事者の会への参加から徐々に社会参加ができるようになり、一般就労までつながった当事者も出てきている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	ひきこもりの状況把握や解消は、個々の事情が異なるため対応方法も様々となるが、長期的な支援を行うために、包括的な取組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	77
成果指標	ウ 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 地域福祉の在り方検討 (2) 生活困窮者の自立支援 (3) 民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体との連携促進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績値	90.9%	88.4%	88.6%	92.0%	88.0%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	92.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	民生児童委員や社会福祉協議会等との連携維持と身近に相談相手がない人の社会的孤立を防ぐ取組活動。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	民生児童委員の地域での積極的な相談支援活動と、社会福祉協議会の毎戸訪問を始めとする各関係機関との連携。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	達成目標値には若干下回っているが、地域のつながりが希薄になってきている現在において、90%以上の人が相談できる人がいる状況を維持できた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	10%の人が悩みや不安を相談できる人はいないと回答していることから、今後は、プライバシーへの配慮等に考慮しながら地域のつながりを密にし、地域で支えあう力を高めていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	高齢福祉課介護保険係	NO	78
成果指標	ア 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合						
取組方針 施策の方向性	（1）高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防への支援（2）地域包括ケアシステムの構築・運用（3）在宅生活支援（4）高齢者福祉施設の整備、見直し						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
実績値	67.02%	67.3%	68.7%	67.8%	67.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	98.8%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	介護予防事業により認定者数の縮小を図るもの。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	地域包括支援センターを三圏域に配置拡充し、地域ごとによりきめ細かな総合相談ができるようにし、併せて介護予防教室等の開催回数を増やすなど、元気なうちから介護予防活動に参加することで、心身の衰えを予防し、要支援要介護者が増えないよう取り組んだ。		
総括 （5年間取り組んできた分析・総括）	目標には届いていないが、認定者数は増加しておらず、現状維持されているため、一定の成果が認められる。地域包括支援センターの三圏域配置拡充により、介護保険制度による支援を必要とする方に、適切にサービスが提供されている。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	介護予防教室の工夫した事業展開やPRにより参加者数を増やししながら、リハビリ専門職等の活用により認定者数の縮小に取り組んで行く。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	高齢福祉課介護保険係	NO	79
成果指標	イ 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合						
取組方針 施策の方向性	（１）高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防への支援（２）地域包括ケアシステムの構築・運用（３）在宅生活支援（４）高齢者福祉施設の整備、見直し						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
実績値	96.62%	96.7%	96.7%	96.5%	96.5%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	99.5%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	介護予防事業により認定者数の縮小を図るもの。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	地域包括支援センターを三圏域に配置拡充し、地域ごとによりきめ細かな総合相談ができるようにし、併せて介護予防教室等の開催回数を増やすなど、元気なうちから介護予防活動に参加することで、心身の衰えを予防し、要支援要介護者が増えないよう取り組んだ。		
総括 （5年間取り組んできたの分析・総括）	目標には届いていないが、認定者数は増加しておらず、現状維持されているため、一定の成果が認められる。地域包括支援センターの三圏域配置拡充により、介護保険制度による支援を必要とする方に、適切にサービスが提供されている。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	介護予防教室の工夫した事業展開やPRにより参加者数を増やししながら、リハビリ専門職等の活用により認定者数の縮小に取り組んで行く。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係	NO	80
成果指標	ウ 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防への支援 (2) 地域包括ケアシステムの構築・運用 (3) 在宅生活支援 (4) 高齢者福祉施設の整備、見直し						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	10.8%	5.3%	7.4%	6.3%	7.65%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	97.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	地域包括支援センターの総合相談対応。サロン活動立ち上げ支援や地域への実態把握訪問で相談対応。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	サロン立ち上げ支援により、3か所のサロンが自主活動を開始している。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	60歳以上の特に男性においては家族・親族、友人が多いが、それ以外は低値を示している。定年を迎えることで、相談できていた方との関わりがうすくなり、相談できる人がいないことが予測される。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	圏域ごとの地域包括支援センターの総合相談機能を活用した相談対応とアウトリーチ。新たな社会参加や社会貢献で役割を創出し、元気高齢者を増やすような「地域づくり」を進めていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係	NO	81
成果指標	エ 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防への支援 (2) 地域包括ケアシステムの構築・運用 (3) 在宅生活支援 (4) 高齢者福祉施設の整備、見直し						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%
実績値	39.9%	37.1%	34.2%	43.0%	43.4%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	76.5%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	地域包括支援センターの任意事業で、介護をされている方を対象に、休息と介護の悩み相談の対応を目的に介護者交流会を開催。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	家族介護者の休息と相談しやすい環境の整備に努め、介護家族者交流会に年間 100 名程度の方に参加していただいた。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	年代では、50 歳代の不安が多い。これは、親世代の介護が必要になる年代になることで、先の見えない不安を感じていると予測される。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	生活支援体制整備事業の生活課題の発見と解決、地域ケア推進会議の地域課題の発見・政策提言などを活用し、地域包括ケアシステムのさらなる深化を進めていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	82
成果指標	ア 福祉施設入所者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 自立支援サービス（地域移行・就労支援）の促進 (2) 障がい児への支援						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	139人	139人	139人	139人	139人
実績値	153人	146人	144人	130人	130人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	106.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	平成 29 年に改正された国の指針に基づき、施設入所者のグループホーム等地域生活への移行を進めた。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	少しずつではあるが、施設入所から地域生活を行う障害者が増えてきた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	地域移行後も住み慣れた地域で生活していけるように、関係機関等との連携を図ったことにより、徐々に地域移行を利用する障害者が増加してきた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	地域移行後の地域における生活を継続していくために、就業や生活面での相談支援や指導体制を整備していく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	83
成果指標	イ 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 自立支援サービス（地域移行・就労支援）の促進 (2) 障がい児への支援						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	1人	1人	1人	1人	1人
実績値	0人	3人	5人	7人	7人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	700.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	当事者と就労先の連携、継続に向けたフォロー体制の整備を進めた。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	当事者と就労先との連携を図りながら、一般就労が継続できるように支援を行った。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	障害者本人の就労に対する心構えも考慮しながら、就労継続に向けた支援を行った。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	本人に対する就労先の理解はもとより、なにより本人の就労意欲の継続が必要となることから、障害者就業・生活支援センターとも連携しながら支援を行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	84
成果指標	ウ 就労移行支援事業の利用者数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 自立支援サービス（地域移行・就労支援）の促進 (2) 障がい児への支援						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	11人	11人	11人	11人	11人
実績値	18人	1人	1人	1人	2人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	18.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	北秋田市内には該当する事業所がないため、市外事業所のサービス利用を行った。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	市外のサービス事業所の利用を行い、少人数ながら就労に向けた訓練を行うことができた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	市外のサービス事業所を利用することになるため利用者数は少ないが、確実に就労に向けた訓練を行うことができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	現状としては、市外事業所のサービスを利用した上で、障害者就業・生活支援センターとも連携しながら、一般就労に向けた訓練の充実を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	福祉課地域障がい福祉係	NO	85
成果指標	エ 公共施設バリアフリー率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 自立支援サービス（地域移行・就労支援）の促進 (2) 障がい児への支援						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	19.5%	21%	21.0%	22.0%	22.0%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	44.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	公共施設のバリアフリー化には①車いす専用駐車場（障害者等用駐車区画も含む）②スロープ（出入口段差解消）③手すり付小便器⑤車いす用トイレ⑥階段の手すりの6項目の整備が条件とされているため、施設改修を伴う取組みは難しい点があり、なかなか進めていない。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	新設施設では主にトイレ設備が整備されてきているが、既存施設のその他の必要な整備まではなかなか取り組めなかった。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	既存施設の改修が必要な大きな整備は予算事情もありなかなか進まなかったが、障害者等用駐車区画が整備できた施設もあった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	障害者が使いやすい施設のあり方を検討し、バリアフリー化を進めていく。（例：障害者等用駐車区画の整備）		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	学校教育課義務教育係	NO	86
成果指標	ア 学校生活に満足している児童（生徒）の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 学校の適正配置 (2) 基礎学力の定着と学力向上 (3) 体験を重視したキャリア教育・ふるさと教育の充実 (4) 教育環境の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	70.0% (小4～6年平均) 65.0% (中1～2年平均)	70.0% (小4～6年平均) 65.0% (中1～2年平均)	70.0% (小4～6年平均) 65.0% (中1～2年平均)	70.0% (小4～6年平均) 65.0% (中1～2年平均)	70.0% (小4～6年平均) 65.0% (中1～2年平均)
実績値	65.3% 59.0%	65.8% 54.4%	70.7% (小4～6年平均) 59.5% (中1～2年平均)	65.1% (小4～6年平均) 55.9% (中1～2年平均)	62.7% (小4～6年平均)、55.4% (中1～2年平均)

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：5103

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	小 89.6% 中 85.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	教員の資質向上を図るために、各小・中学校での研修会に推進監を派遣してきた。また、教育センターで理科・社会科発表会、発明工夫展、職場体験などを主催し、児童生徒が発表・体験できる機会を提供してきた。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	研修会を通して、資質能力の向上が図られてきている。発表会等は児童生徒の減少に伴い参加者が減っているものの、参加者からは有意義な機会となっている旨の感想が多く寄せられている。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	「学校が楽しい」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒は90%を超えている。「そう思う」という回答が増えるためには、他から認められ、自己有用感が高まることが必要と考えられる。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	児童生徒一人一人が自尊感情を高めるとともに、周りの児童生徒や教師などから認められることにより自己有用感を高められるよう取り組んでいきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	生涯学習課生涯学習係	NO	87
成果指標	イ 学校支援地域本部の設置割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 学校の適正配置 (2) 基礎学力の定着と学力向上 (3) 体験を重視したキャリア教育・ふるさと教育の充実 (4) 教育環境の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%	100%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	100.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	「地域学校協働活動」への移行、「学校運営協議会制度導入」へ向けて、情報や課題の共有を図るために「連絡協議会」や「研修会」等を開催するなど、地域と学校の連携を強化する。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	「学校支援地域本部」から「地域学校協働活動」への移行を支援し、「学校運営協議会制度」導入を確立した。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	人口減少、高齢化の進むまちにありながら、学校だけではなく地域ぐるみで将来を担って行く人材を育成することの意義を共有し、課題に取り組むことができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	令和元年度、「学校運営協議会」制度を 15 校中 6 校が導入。2 年度は全校が導入することにより、新指導要領にあわせた教育活動並びに、地域人材の育成を図り、元気な地域づくりを目指す。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	学校教育課義務教育係	NO	88
成果指標	ウ 県学習状況調査における正答率						
取組方針 施策の方向性	(1) 学校の適正配置 (2) 基礎学力の定着と学力向上 (3) 体験を重視したキャリア教育・ふるさと教育の充実 (4) 教育環境の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	県平均+5～10%	県平均+5～10%	県平均+5～10%	県平均+5～10%	県平均+5～10%
実績値	小4 75.4%+4.0% 小5 67.6%-0.2% 小6 70.2%+1.1% 中1 68.4%+4.5% 中2 67.0%+4.4%	小4 +2.6% 小5 +1.2% 小6 +2.0% 中1 +5.3% 中2 +8.0%	小4 72.3%+2.0% 小5 70.7%+1.6% 小6 75.5%-0.4% 中1 69.1%+2.5% 中2 62.4%+9.3%	県平均+1.4% 小4 74.3%+1.8% 小5 74.0%+2.8% 小6 70.5%-0.5% 中1 65.3%+0.4% 中2 66.6%+2.7%	県平均±0% 小4 70.9%-0.4% 小5 75.6%+2.0% 小6 71.1%+0.1% 中1 59.9%-0.5% 中2 57.9%-1.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：5103

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	1.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	授業力の向上のため、教育センター事業として、授業研究に取り組むとともに新学習指導要領についての研修を行ってきた。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	北教育事務所と連携した授業研究、プログラミング教育など新学習指導要領に対応した研修会の実施等。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	秋田県自体が高い水準であり、それよりも更に高い目標値を設定していたため目標値には届かなかったが、概ね県平均並みの正答率であった。児童生徒の学力向上を常に推進していきたい。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	児童生徒の学力向上に加え、ふるさと教育、キャリア教育を更に推進していきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	生涯学習課文化係	NO	89
成果指標	ア 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進 (2) 芸術、文化活動の支援 (3) 有形文化財の保存と活用 (4) 無形文化財の保護と継承						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	23.8%	26.8%	29.7%	30.2%	30.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	60.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	入館者増への取り組みとして、遺跡の現地公開、ジュニアボランティアの活動、縄文まつり、縄文館講座などの各種イベント実施に合わせたPR活動など。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	各種イベントの実施に合わせPR活動の実施。市内の自治会及び小中学校へ見学について文書送付。遺跡現地を安全に見学できる環境整備と体制作り。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	少しずつではあるが増えている。知っているが見学したことがない人に足を運んでもらうための取り組みが不足していた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	世界文化遺産登録についてのPRを継続し、気軽に伊勢堂岱遺跡へ足を運べるよう市民バスを活用するなどの取り組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	生涯学習課文化係	NO	90
成果指標	イ 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進 (2) 芸術、文化活動の支援 (3) 有形文化財の保存と活用 (4) 無形文化財の保護と継承						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
実績値	0.4%	1.9%	1.6%	2.3%	2.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	110.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	イベント毎に市広報、ホームページ、新聞等でのPR。縄文まつり実行委員会への関係団体との連携。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	縄文まつり、縄文館講座、伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアの事業が定着した。また、関係団体の委員で構成する縄文まつり実行委員会を中心とした縄文まつりの実施ができた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	イベントを実施する毎に、興味・関心を持って参加してくれている人がいることを実感できた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	縄文まつり、縄文館講座への参加者増とガイドボランティアを増やすための取り組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	生涯学習課文化係	NO	91
成果指標	ウ 芸術文化協会の加入団体数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進 (2) 芸術、文化活動の支援 (3) 有形文化財の保存と活用 (4) 無形文化財の保護と継承						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	120 団体	120 団体	120 団体	110 団体	105 団体
実績値	115 団体	115 団体	109 団体	105 団体	101 団体

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	96.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	市芸術文化協会への補助金交付及び美術展覧会等の市芸術文化協会事業への協力。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	市文化祭へ芸術文化協会のほとんどの加盟団体が演示部門・展示部門等へ出演・出品するなど、発表の場を提供できた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	加盟団体へ発表の場を提供してきたが、各団体の会員が高齢化してきており、団体によっては新しい会員の入会がほとんど見られないことや脱退する団体が出ている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	芸術文化協会と連携し、加盟団体へ加入する人を増やすため各団体の活動紹介についての取り組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	生涯学習課文化係	NO	92
成果指標	エ 祭りや伝統芸能等、地域行事に参加したことがある市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進 (2) 芸術、文化活動の支援 (3) 有形文化財の保存と活用 (4) 無形文化財の保護と継承						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	32.0%	32.0%	32.0%	32.0%	32.0%
実績値	29.6%	27.0%	26.7%	32.5%	30.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	94.7%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	地域の民俗芸能活動団体が出演する民俗芸能大会の開催。また、関係団体を集めた意見交換会の開催。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	民俗芸能大会を開催し、地域の民俗芸能を市民へ紹介する機会を提供できた。また、団体へ呼びかけ意見交換会を行った。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	市民に地域の伝統を紹介する機会を提供したが、地域において人材不足が課題になっている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	地域の伝統芸能、行事について各団体と連携し、日程や内容を積極的に市民へ紹介する取り組みを進める。また、地域の伝統芸能を継承していくための見交換会を定期的で開催する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	生涯学習課文化係	NO	93
成果指標	オ 芸術や文化等、グループ活動に参加したことがある市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進 (2) 芸術、文化活動の支援 (3) 有形文化財の保存と活用 (4) 無形文化財の保護と継承						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%
実績値	5.0%	6.6%	6.4%	5.1%	4.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	35.4%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	市文化祭での団体紹介や体験教室。また、公民館等の窓口でのサークル等情報の紹介。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	市文化祭等を通して、各団体の活動を紹介することができた。また、公民館等を使用しているサークル等の情報をまとめ事務局を紹介できた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	市文化祭において団体の紹介や体験教室を行っているが、新たな会員の確保が課題になっている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	市民が芸術や文化活動を身近に感じる事が出来るように、各団体の活動内容を各施設内での掲示や新聞等で紹介する取り組みを進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係	NO	94
成果指標	ア スポーツ施設利用者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) スポーツ環境の充実 (2) 生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化 (3) 競技スポーツの向上						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	240,000人	240,000人	240,000人	290,000人	290,000人
実績値	232,439人	234,296人	217,433人	229,405人	223,477人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	77.1%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	既存施設の補修・改修等の管理・多様なニーズに対応した用具の整備・施設の弾力的な運用・施設予約システムの導入による利便性の向上。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	破損箇所の修繕や利用環境向上のための整備を実施した・スポーツ用具は適宜修繕や交換を行った・システム導入には至っていないが、市のホームページに施設の空き状況を掲載している。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	少雪の影響もあって薬師山スキー場の利用者が減っているほか、鷹巣体育館の利用者も減少傾向にある。体育館は団体利用が多いが、1回あたりの利用人数が減っている。市民プールは順調に利用者数が伸びているが、今後数年で一定数に到達した後は伸びが止まる可能性もある。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	施設の老朽化に伴って規模の大きな改修も必要となっているため、優先順位を判断して計画的な改修を進める・体育館は個人や小グループでも利用しやすいように、引き続き柔軟な運用を図っていく・薬師山スキー場の夏場の利用について、指定管理者と協議しながら検討を進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係	NO	95
成果指標	イ チャレンジデー参加率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) スポーツ環境の充実 (2) 生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化 (3) 競技スポーツの向上						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	60.0%	60.0%
実績値	58.70%	55.6%	60.0%	63.0%	62.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	104.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	事前のPR強化と、スポーツ団体・自治会・企業・学校等への参加呼び掛け及び実施報告への協力依頼、個人参加者の報告のしやすさについて工夫。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	各スポーツ団体をはじめ自治会・企業・学校等への参加・報告依頼を徹底した。また、気楽に参加できるイベントの実施や、ネットで報告できるようにするなど、参加率向上につなげることができた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	多少の上下はあるものの、参加率は平成29年度から目標の60%以上をキープしている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	チャレンジデー実行委員会で、令和元年度から参加率の目標を、65%以上としている。この目標にはまだ達していないため、参加のしやすさ・報告のしやすさの向上とともに、運動と健康について市民意識の高揚を図っていく。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係	NO	96
成果指標	ウ 運動・スポーツを月に数回以上する市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) スポーツ環境の充実 (2) 生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化 (3) 競技スポーツの向上						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	31.0%	38.3%	40.5%	33.9%	48.0%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	96.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	健康教室やスポーツ教室について住民に周知を図るとともに、開催回数を増やすことで参加の機会をつくる。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	高齢福祉課や医療健康課との連携による健康教室への参加者が増加している。また、スポーツ推進委員による教室を地域ごとに開催するなどして、市民が運動する機会を広げることができた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	年々、目標値の 50% に近づいてきており、各事業の効果が感じられる。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	教室の種類や開催時間帯などを工夫して、より多くの市民に、運動を継続して行う意識を持ってもらえるような事業の実施を検討する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係	NO	97
成果指標	エ 体育協会所属団体・人数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) スポーツ環境の充実 (2) 生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化 (3) 競技スポーツの向上						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	23 団体、1, 800 人	23 団体、1, 800 人	23 団体、1, 800 人	23 団体、1, 800 人	23 団体、1, 800 人
実績値	23 団体、延べ 2, 009 人	23 団体 延べ約 2, 000 人	23 団体 1, 844 人	23 団体、1, 732 人	22 団体、1, 744 人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。

※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	96.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	北秋田市体育協会に補助金を交付し、所属団体の運営を補助することで、スポーツに参加する機会の充実を図る。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	体育協会を通じて、所属スポーツ団体の活動とスポーツをする機会の維持。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	スポーツ団体の活動は維持されているが、加入者数が全体的に減少傾向である。運動をする市民の割合が増加しながらもスポーツ団体数や加入者数が伸びないのは、競技スポーツではなくウォーキングなどの1人でもできる運動をする人が増えているのが要因と思われる。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	体育協会との連携により引き続き各団体を支援するほか、ニュースポーツや障害者スポーツの団体の加入促進及び支援を検討する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	生活課環境係	NO	98
成果指標	ア 家庭ごみ1日1人あたりの排出量【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) ごみの減量化とリサイクル率の向上 (2) 処理体制の充実 (3) 不法投棄対策の推進 (4) 住民参加による自然環境保全活動の推進 (5) し尿処理、汚泥処理の対応						

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	251.9kg / 人・日	251.9kg / 人・日	251.9kg / 人・日	690.1g / 人・日	690.1g / 人・日
実績値	701g / 人・日	680g / 人・日	681g / 人・日	688.2g / 人・日	691g / 人・日

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成32年度（令和2年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	99.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	毎月市広報において「環境コラム」を掲載し、環境はもとより、ごみに対する意識の啓発を図った。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	出前講座等を行い、リサイクル及びごみ減量化の重要性（3Rの推進）について周知を図ることができた。また、古着・古布の無料回収事業も行った。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	H29年度には新規事業として「古着・古布回収事業」を行い、多くの市民よりリサイクル用品等が提供され、排出量減少に係る意識啓発が図られた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	市民1人1人のごみ減量に対する自覚を促すため、市広報等において3R（リサイクル、リユース、リデュース）の宣伝を行う。また、出前講座等を活用促進を図る。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	生活課環境係	NO	99
成果指標	イ 総資源化率（リサイクル率）【単年】						
取組方針 施策の方向性	（１）ごみの減量化とリサイクル率の向上（２）処理体制の充実（３）不法投棄対策の推進（４）住民参加による自然環境保全活動の推進（５）し尿処理、汚泥処理の対応						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%
実績値	13.3%	12.9%	12.8%	12.6%	12.09%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	78.5%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	家庭ごみ等の分別徹底を図り、資源ごみ量の増加を推進し、リサイクル率の向上を図る。		
取組実績 （5年間で何をを行うことができたか？）	出前講座申込件数も増えつつあり、令和元年度は12回開催した。中学生、高校生を含め、リサイクル及びごみ減量化の重要性について周知を図ることができた。		
総括 （5年間取り組んできたの分析・総括）	資源ごみを可燃ごみとして廃棄する割合が高く、このことよりリサイクル率の向上が図られていない。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	市広報およびHP、出前講座等を活用し、市民に対し資源ごみの分別徹底を図り、リサイクル率の向上を推進する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	生活課環境係	NO	100
成果指標	ウ 不法投棄件数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) ごみの減量化とリサイクル率の向上 (2) 処理体制の充実 (3) 不法投棄対策の推進 (4) 住民参加による自然環境保全活動の推進 (5) し尿処理、汚泥処理の対応						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	40件	40件	40件	40件	40件
実績値	70件	56件	74件	62件	78件

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	51.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	不法投棄監視員の巡回を徹底し、注意喚起看板等の設置により減少を図る。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	注意喚起看板や監視カメラの設置により、不法投棄者の特定に至ったケースもあり、直接指導することができた。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	件数は横ばい傾向である。内訳として家庭ごみ、電化製品、自動車関連用品、農業用産廃の投棄が多い。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	市広報およびHP、出前講座等を活用し、市民に対する不法投棄防止の周知・啓発を行い、監視の徹底を行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	生活課環境係	NO	101
成果指標	エ クリーンアップ活動に参加している市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) ごみの減量化とリサイクル率の向上 (2) 処理体制の充実 (3) 不法投棄対策の推進 (4) 住民参加による自然環境保全活動の推進 (5) し尿処理、汚泥処理の対応						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
実績値	42.4%	49.7%	15.3%	13.0%	30.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	180.8%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	各自治会や町内会の協力により、環境美化に対する市民の意識を高め、年2回開催のクリーンアップ活動への参加を推進する。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	恒例の事業となり、各自治会・町内会の協力のもと、安全に行うことができた。また、住みよい環境に対する意識も根付いてきている。		
総括（5年間取り組んできての分析・総括）	環境美化活動に対する市民の参加率の向上が図られた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	これまで同様、関係各位の連携のもと、環境美化に対する意識の向上を図りつつ、市民の参加率向上を推進する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	生活課環境係	NO	102
成果指標	ア 節電や節水等、地球温暖化防止につながる取り組みをしている市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) エコ意識の普及・啓発 (2) 再生可能エネルギーの利用促進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	65.8%	73.4%	65.1%	65.2%	60.9%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	81.2%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	節電や節水等により、地球規模での環境保全に対する市民の意識掲揚を高める。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	出前講座および毎月市広報に「環境コラム」を掲載し、市民の環境問題に対する意識啓蒙を図ることができた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	環境問題に対する市民の意識を高めることができた。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	今後も継続してイベントや出前講座等を活用し、市民の環境問題に対する意識啓蒙を図る。また、アンケート等による実態調査に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	生活課環境係	NO	103
成果指標	イ 公共施設（市直営施設）におけるCO2 排出量【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) エコ意識の普及・啓発 (2) 再生可能エネルギーの利用促進						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	63,000t-CO2	63,000t-CO2	63,000t-CO2	63,000t-CO2	63,000t-CO2
実績値	11,692t-CO2	-	14,502t-CO2	11,438t-CO2	-

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	達成率
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	地球温暖化防止のため、公共施設からのCO2 排出量の減少を促進する。
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	公共施設における照明のLED化の促進、冷暖房での適切な温度管理等を図ることができた。
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	数値的な実績は算出できていないが、全庁的に環境問題に対する取り組みが図られた。
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	公用車のアイドリングストップをはじめ、今後も各公共施設において効率的な施設運用を図る。

備考	毎年7月に県に実績値が報告されているため、令和元年度の実績値は表せない
----	-------------------------------------

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	建設課工務係	NO	104
成果指標	ア 市道の改良率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 広域交流交通基盤の整備 (2) 生活圏域交通基盤の整備						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
実績値	77.4%	77.9%	78.1%	78.1%	78.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	97.8%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	要改良箇所を抽出し、年次計画を立て取組んだ。		
取組実績 (5年間で何を行うことができたか?)	年次計画に従い工事を行った。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	概ね計画通りに事業を遂行できた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	今後も引き続き事業を取組んで行きたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	建設課工務係	NO	105
成果指標	イ 市道の舗装率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 広域交流交通基盤の整備 (2) 生活圏域交通基盤の整備						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	73.0%	73.0%	73.0%	73.0%	73.0%
実績値	70.6%	71.2%	71.5%	71.5%	71.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	98.1%
取組内容 （5年間でどのように進めようとしたのか？）	主に生活圏内の未舗装等箇所を抽出し年次計画を立て取組んだ。		
取組実績 （5年間で何を行うことができたか？）	年次計画に従い工事を行った。		
総括 （5年間取り組んできての分析・総括）	概ね計画通りに事業を遂行できた。		
方向性 （今後はどのように取り組んで行くか）	今後も引き続き事業を取組んで行きたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	建設課工務係	NO	106
成果指標	ウ 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 広域交流交通基盤の整備 (2) 生活圏域交通基盤の整備						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	85.5%	85.5%	85.5%	85.5%	85.5%
実績値	72.4%	73.7%	73.7%	73.7%	74.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	86.7%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	平成 25 年度に実施した路面性状調査において、緊急度の高い道路の舗装補修を計画的に取組んだ。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	年次計画に従い工事を行った。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	交付金事業等も活用しながら事業を実施していたが、内示率低下により進捗が停滞した。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	交付金のほか、他の事業等も活用しながら実施して行きたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	建設課工務係	NO	107
成果指標	エ 緊急度が高い橋梁数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 広域交流交通基盤の整備 (2) 生活圏域交通基盤の整備						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	0 橋	0 橋	0 橋	0 橋	0 橋
実績値	3 橋	1 橋	0 橋	0 橋	0 橋

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	100.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	平成 26 年度定期点検において、判定【IV】の橋梁 4 橋について早期に解消すべく計画を立て取組んだ。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	早期解消に向け工事を行った。		
総括（5年間取り組んできての分析・総括）	H29.4月にすべて完了した。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	パトロールや点検を行い、健全度の把握に努めたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	上下水道課下水道係	NO	108
成果指標	ア 水洗化率【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 生活排水処理施設の整備促進 (2) 未加入世帯の加入促進 (3) 下水道会計の健全化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	62.4%	63.0%	64.2%	65.2%	65.7%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	87.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	公共下水道処理区域において、施設整備と加入促進により、市民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	主に鷹巣処理区の整備と加入促進を進めながら水洗化率の向上を図ってきたが、目標値に及ばなかった。事業を取り巻く厳しい状況の中で、整備を進めてきたことにより、着実に水洗化率が向上してきているものと感じている。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	供用対象区域等での説明会や広報等も実施してきたが、各家庭状況等や水洗化への意識の関係もあり、目標値に達することができなかった。今後も水洗化率向上に向けて、円滑な事業運営に努めていきたいと考えている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	水洗化率の向上は全国的な課題でもあるが、様々な方策を模索しながら、粘り強く丁寧な周知啓発活動を進め、下水道整備及び加入促進の取り組みをさらに図っていきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	上下水道課下水道係	NO	109
成果指標	イ 経費回収率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 生活排水処理施設の整備促進 (2) 未加入世帯の加入促進 (3) 下水道会計の健全化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%
実績値	39.8%	42.0%	62.2%	64.1%	64.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	126.3%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽処理区域において、施設整備と加入促進をしながら、安定した料金収入と適正な施設の維持管理及び汚水処理に努め、経費回収率の向上を図る。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	平成 29 年度実績値から、目標値に達することができている。ある程度、料金収入と汚水処理費の状況が向上しているものの、さらなる経営健全化と経費回収率の向上に努めていきたいと感じている。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	目標値を捉えると達成済みであり、一定の効果があったものと考えられるが、今後の人口減少等の社会情勢を見据えて、合理的な体制の構築や、料金体系も検討する必要もあると考えている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	令和 2 年度から「地方公営企業会計」に移行となったことから、健全経営に向けた事業の効率化等の取り組みを進め、安定的かつ持続的な運営を目指していきたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	上下水道課下水道係	NO	110
成果指標	ウ 合併処理浄化槽設置基数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 生活排水処理施設の整備促進 (2) 未加入世帯の加入促進 (3) 下水道会計の健全化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	1, 111基	1, 111基	1, 111基	1, 111基	1, 111基
実績値	952基	984基	1, 014基	1, 027基	1, 044基

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	94.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	未普及地域の解消と水洗化率向上のため、浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	住宅リフォーム助成事業や市の嵩上げ助成も行ってきたが、目標値に 67 基及ばず 94%の実績となった。想定したよりは伸びなかったものの、達成率的には、一定の成果もあったと感じている。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	家屋の新改築も影響することから、下水道整備区域外の設置基数が想定よりも伸びずに目標値に達しなかったが、今後も水洗化率の向上のため、設置基数の増加につなげていきたいと考えている。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	設置事業者等も含めた周知啓発活動に努めるとともに、今後も下水道整備区域外の設置基数の増加を図ってまいりたい。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	水道課経営係	NO	111
成果指標	ア 有収率（上水、簡水）						
取組方針 施策の方向性	（１）安定供給体制の確立（２）水道会計の健全化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	82.0%（上水） 82.0%（簡水）	82.0%（上水） 82.0%（簡水）	82.0%（上水） 82.0%（簡水）	82.0%（上水） 82.0%（簡水）	82.0%
実績値	81.4% 80.0%	80.3%（上水） 80.0%（簡水）	73.87%（上水） 80.1%（簡水）	65.1%（上水） 77.0%（簡水）	69.2%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	84.4%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	業務経験者による維持管理作業班の結成・漏水調査の民間委託。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	維持管理作業班による初動対応の改善・漏水調査による漏水発見修繕。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	維持管理作業班による管理体制と民間活力による漏水調査の分業が確立され、継続した取組みが可能となった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	再編した維持管理体制により、漏水修繕に起因する復元漏水を改善していく長期的な取組みが必要。		

備考	令和元年度より上水・簡水が一本化したため目標値修正。実績値も一本化での数値となっている。
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり	担当部署	水道課経営係	NO	112
成果指標	イ 供給単価-給水原価（上水、簡水）						
取組方針 施策の方向性	（１）安定供給体制の確立（２）水道会計の健全化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	15.00円/m ³ （上水） △5.00円/m ³ （簡水）	15.00円/m ³ （上水） △5.00円/m ³ （簡水）	15.00円/m ³ （上水） △5.00円/m ³ （簡水）	15.00円/m ³ （上水） △5.00円/m ³ （簡水）	△20.00円/m ³
実績値	16.52円/m ³ △19.41円/m ³	19.38円/m ³ （上水） △39.58円/m ³ （簡水）	18.45円/m ³ （上水） △60.43円/m ³ （簡水）	△51.15円/m ³ （上水） 62.63円/m ³ （簡水）	△22.89円/m ³

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	85.6%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	国の制度改革に沿った簡易水道特別会計への公営企業会計制度の導入・民間委託を含めた効率的な組織の再編、組織力の向上。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	簡易水道特別会計への公営企業会計制度の導入による所管全事業の経営統合・窓口業務の民間委託。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	経営の芳しくない事業を年々統合した結果、経営努力が目に見えた形では現れなかった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	継続して経営の効率化に努めるとともに、官官連携、官民連携を視野に入れた将来設計の検討が必要。目標数値算出方法の異なる事業の経営統合により、判断基準の再考の必要性有。		

備考	令和元年度より上水・簡水が一本化したため目標値修正。実績値も一本化での数値となっている。
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	消防本部	NO	113
成果指標	ア 救命講習会を受講したことがある市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民、地域の意識の向上 (2) 消防・救急体制の維持・充実 (3) 消防団の再編						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	52.3%	52.9%	54.5%	56.4%	56.6%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	94.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	学校、事業所、地域単位で受講者の希望に添うような講習会を開催。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	毎年、2000人を目標に講習会を開催している。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	令和元年中、心肺停止者59名のうち、市民により心肺蘇生法が施されていたのは33名。うち蘇生成功例は10名で、社会復帰者は2名であった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	救命率を上げるためには市民による蘇生は重要であるため市民教育をすすめる。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	消防本部	NO	114
成果指標	イ 火災報知機未設置の世帯数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民、地域の意識の向上 (2) 消防・救急体制の維持・充実 (3) 消防団の再編						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	0%	0%	0%	0%	0%
実績値	12.9%	15.3%	15.3%	17.3%	14.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	85.9%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	設置促進と維持管理の啓発を行った。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	外郭団体から助成を受けた住宅用火災警報器を未設置の高齢者世帯に設置した。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	住宅用火災警報器の作動による奏功事例が18件となる。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	高齢者世帯を重点に設置促進と維持管理の啓発を行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	消防本部	NO	115
成果指標	ウ 火災発生件数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民、地域の意識の向上 (2) 消防・救急体制の維持・充実 (3) 消防団の再編						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	15件	15件	15件	15件	15件
実績値	17件	10件	16件	15件	18件

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	83.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	事業所や高齢者世帯の予防査察を強化した。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	事業所等の火災件数は、着実に減少している。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	火災の原因を究明し、市民に火災原因と対策の啓発を行うことができた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	火災件数を減らすために、徹底した火災予防に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	消防本部	NO	116
成果指標	エ 火災による死者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民、地域の意識の向上 (2) 消防・救急体制の維持・充実 (3) 消防団の再編						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	0人	0人	0人	0人	0人
実績値	1人	0人	0人	0人	2人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	0.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	住宅用火災警報器の設置促進を行った。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	昨年度において、1名が逃げ遅れて焼死した。（うち自殺者1名）		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	高齢者世帯と近隣との協力体制を確保するよう指導。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	関係機関と協同で予防査察を強化する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	消防本部	NO	117
成果指標	オ 救急救命士数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民、地域の意識の向上 (2) 消防・救急体制の維持・充実 (3) 消防団の再編						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	30人	30人	30人	30人	30人
実績値	26人	27人	29人	31人	30人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	100.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	現在の実働救命士は26名。30名の確保を目標に毎年、救急救命士の養成に努めている。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	ほとんどの出場事案に救急救命士が搭乗できている。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	過去5年間で搬送した心肺停止傷病者は296名、うち心拍再開者は37名、社会復帰者は9名となっている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	全ての救急事案に救急救命士が搭乗するためには、30名の実働救急救命士が必要であるため、救急救命士の養成を継続する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	消防本部	NO	118
成果指標	カ 消防団員数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 市民、地域の意識の向上 (2) 消防・救急体制の維持・充実 (3) 消防団の再編						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	756人	756人	756人	756人	756人
実績値	752人	723人	686人	649人	638人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	84.4%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	消防団員の確保に努めた。		
取組実績（5年間で何を行うことができたか？）	条例を改正し、消防団員の待遇と機能別分団を創設した。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	高校や事業所へ出向き、入団をお願いするなどPRを行ったが、増員には結びつかなかった。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	若手消防団員からの意見を反映するなど、活力と魅力ある消防団を築く。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	生活課地域推進係	NO	119
成果指標	ア 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 交通安全意識・防犯意識の啓発 (2) 交通安全施設・防犯灯の整備 (3) 犯罪被害者へのケア						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	80人	80人	80人	80人	80人
実績値	79人	79人	74人	73人	69人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	3. 現在の取組みでは達成困難	達成率	86.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	現役指導員の推薦・紹介を受け新入隊員の勧誘。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	現役指導員の推薦・紹介を受け新入隊員の勧誘を行った。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	毎年勧誘を行っているが、年齢等を理由とした退職者が新入隊員を上回り、隊員数の減員が続いている状態となっている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	現役指導員の推薦・紹介を受け新入隊員の勧誘を行うほか、報酬改定及び定員の再考も検討する。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	生活課地域推進係	NO	120
成果指標	イ 交通事故件数（人身事故件数）【単年】						
取組方針 施策の方向性	（１）交通安全意識・防犯意識の啓発（２）交通安全施設・防犯灯の整備（３）犯罪被害者へのケア						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50件	50件	50件	50件	50件
実績値	55件	50件	37件	40件	16件

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	270.0%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロール。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールなどを行った。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	交通事故件数・交通事故による死傷者数の減少傾向が続いており、街頭指導・パトロールの有効性が改めて実証されたものとする。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	交通指導員による街頭指導、交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	生活課地域推進係	NO	121
成果指標	ウ 年間死傷者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 交通安全意識・防犯意識の啓発 (2) 交通安全施設・防犯灯の整備 (3) 犯罪被害者へのケア						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	30人	30人	30人	30人	30人
実績値	77人	85人	37人	47人	21人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	116.1%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロール。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールなどを行った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	交通事故件数・交通事故による死傷者数の減少傾向が続いており、街頭指導・パトロールの有効性が改めて実証されたものとする。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	交通指導員による街頭指導、交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	生活課地域推進係	NO	122
成果指標	エ 交通事故死者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1)交通安全意識・防犯意識の啓発 (2)交通安全施設・防犯灯の整備 (3)犯罪被害者へのケア						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	1人	1人	1人	1人	1人
実績値	3人	5人	1人	2人	0人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	133.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロール。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールなどを行った。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	交通事故件数・交通事故による死傷者数の減少傾向が続いており、街頭指導・パトロールの有効性が改めて実証されたものとする。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	交通指導員による街頭指導、交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	生活課地域推進係	NO	123
成果指標	オ 犯罪件数（刑法犯認知件数）【単年】						
取組方針 施策の方向性	（１）交通安全意識・防犯意識の啓発（２）交通安全施設・防犯灯の整備（３）犯罪被害者へのケア						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	55件	55件	55件	55件	55件
実績値	90件	63件	62件	51件	45件

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	176.9%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	飲食店訪問など防犯指導員によるパトロール及び防犯カメラの設置による犯罪の未然防止、抑止。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	飲食店訪問など防犯指導員によるパトロール及び防犯カメラの設置による犯罪の未然防止、抑止に努めた。		
総括（5年間取り組んできたの分析・総括）	刑法犯認知件数の減少傾向が続いており、パトロールや防犯カメラの設置が防犯意識の啓発に有効と考える。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	防犯指導員によるパトロール及び防犯カメラの設置を継続して行う。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	生活課地域推進係	NO	124
成果指標	ア 消費生活に関する講座、研修会参加者数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 特殊詐欺防止意識の啓発 (2) 消費生活相談体制の充実・整備 (3) 消費者取引の適正化						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	50人	50人	50人	50人	50人
実績値	30人	100人	84人	137人	168人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	336.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	出前講座・研修会で特殊詐欺の被害防止・通信販売トラブル等の啓発。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	出前講座・研修会で特殊詐欺の被害防止・通信販売トラブル等の啓発を行った。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	講座・研修会により、消費生活センターの周知が進み、消費生活意識の啓発が図られた。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	出前講座・研修会の継続して開催する。若年者の消費者教育に向け、小中学校での啓発活動を進める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	総務課総務係	NO	125
成果指標	ア 職員数【累計】						
取組方針 施策の方向性	(1) 行政運営のスリム化と効率化 (2) 財政運営の健全化 (3) 市職員の意識改革・能力向上 (4) 電子自治体システムの構築促進 (5) 広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	467人	467人	467人	467人	467人
実績値	490人	489人	487人	483人	478人

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	99.0%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	目標値は第2次行革大綱に基づくもので、現在は平成28年度策定した第2次職員定員適正化計画により職員の適正化を図ることとしている。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	職員定員適正化計画では、令和元年度4月時点484人、令和2年度4月時点482人の職員数を計画している。目標値まで△11人であるが、現状では適正化計画よりも早いペースで職員数が減少している。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	職員適正化計画に基づき、毎年度採用者数を計画するも、近年の受験者数の減少、見込以上の早期退職者数等、予定した職員数を確保できていない。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	今後は、定年の延長とそれに伴う再任用職員制度等の改正、また会計年度任用職員等、従来の職員の任用制度が当該戦略策定当時（H27）より大きく変化する。職員の年代別、業種別のバランスを考慮した効果的な職員確保に取り組む必要がある。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	財政課財政係	NO	126
成果指標	イ 実質公債費比率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 行政運営のスリム化と効率化 (2) 財政運営の健全化 (3) 市職員の意識改革・能力向上 (4) 電子自治体システムの構築促進 (5) 広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	9.7%	9.7%	9.7%	14.2%	14.2%
実績値	9.3%	9.5%	9.2%	10.2%	10.9%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	130.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	地方債繰上償還の実施や地方債発行の制限により数値上昇の抑制に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	実質公債費比率は 10.9%となり、前年度と比べて 0.7 ポイント上昇した。当該比率は3カ年平均として算出されるが、分子においては、公債費が増加したものの、公営企業債の償還財源に充てたと認められる繰入金が増加し、分母の標準財政規模に含まれる普通交付税及び臨時財政対策債の減などにより、分子、分母ともに減少したことにより単年度では、前年度に比べて 1.3 ポイント改善している。5年前と比べると、1.7 ポイントの上昇であるが目標範囲内であり、地方債の繰上償還や地方債発行の制限による効果があった。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	地方債元利償還金、繰入金が増による分子の増加、普通交付税、臨時財政対策債の減による分母の減少により、5年間では 1.7 ポイントの増であるが、目標値内であり地方債の繰上償還や地方債発行の制限による効果があった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	今後も大型建設事業が予定されており、地方債残高の増嵩が見込まれるが、事業実施年度の平準化などにより地方債残高の抑制を図り、比率の抑制に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	財政課財政係	NO	127
成果指標	ウ 将来負担比率【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 行政運営のスリム化と効率化 (2) 財政運営の健全化 (3) 市職員の意識改革・能力向上 (4) 電子自治体システムの構築促進 (5) 広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
実績値	60.8%	60.1%	57.0%	61.6%	58.5%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	145.3%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	地方債繰上償還の実施や地方債発行の制限により数値上昇の抑制に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	将来負担比率は 58.5%となり、前年度に比べて 3.1 ポイント改善した。これは地方債現在高の減、退職手当負担見込額の減、公営企業債等繰上見込額の減などによるものである。5年前と比べると 2.3 ポイント改善しており、地方債の繰上償還や地方債発行の制限による効果があった。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	5年前と比べると 2.3 ポイント改善しており、地方債の繰上償還や地方債発行の制限による効果があった。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	今後も大型建設事業が予定されており、地方債残高の増嵩が見込まれるが、地方債の繰上償還や事業実施年度の平準化などにより地方債残高の抑制を図り、引き続き財政の健全化に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	総務課総務係	NO	128
成果指標	エ 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率【単年】						
取組方針 施策の方向性	（１）行政運営のスリム化と効率化（２）財政運営の健全化（３）市職員の意識改革・能力向上（４）電子自治体システムの構築促進（５）広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績値	98.2%	96.8%	97.0%	98.6%	97.1%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	99.1%
取組内容（5年間でどのように進めようとしたのか？）	定期的に債権管理委員会作業部会を開催し、回収困難、不可能な事例について情報を共有し、あらゆる角度からの助言や参考事例を発しあうことで地道に忍耐強く回収に取り組めるような体制を進めてきた。		
取組実績（5年間で何をを行うことができたか？）	ここ2-3年は目標値98%を達成できている。定期的に作業部会を開催することで、職員の回収意欲を減退させることなく業務へ向かう体制が構築された。		
総括（5年間取り組んできた分析・総括）	現年度分債権に係る体制はある程度構築されてきたと感じている。今後は過年度分のいわゆる欠損不能な「私債権」についての対応が必要となる。		
方向性（今後はどのように取り組んで行くか）	引き続き担当職員が地道に忍耐強く回収できるための体制づくりに取り組む。また、今後はR元年度に住宅、水道料金について不能欠損に関する規定を制定したことを例に、他の部署で抱える回収が極めて困難な私債権について適切な対処ができるよう取り組んでいく。		

備考	令和元年度実績値については2月末時点。同時点で例年並の実績のため出納閉鎖までに目標値は達成可能と推測。
----	---

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	総務課総務係	NO	129
成果指標	オ 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 行政運営のスリム化と効率化 (2) 財政運営の健全化 (3) 市職員の意識改革・能力向上 (4) 電子自治体システムの構築促進 (5) 広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	51.2%	60.8%	60.7%	58.9%	59.8%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	99.7%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	5年間で概ね60%と目標値を達成している。指摘される接遇や電話対応の改善に努めた。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	新規採用者へ入庁時に特に服装、挨拶、電話対応には特に意識するよう指導した。電話対応については、苦情が直接総務課に寄せられることが多いため、速やかに所属長等に連絡し改善に努めるよう通知している。		
総括 (5年間取り組んできた分析・総括)	目標値を達成しているとはいえ、指摘される内容に大きな変化はないと感じる。とくに、窓口業務については、常に市民の視線が寄せられる部署であるため、人事異動で担当者が変わった場合は、年齢役職問わず対応について再認識をさせる必要がある。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	寄せられたコメントには挨拶への指摘が多い。従来以上に新規採用職員への挨拶の大切さを指導するほか、採用後数年経過した若年層への接遇関係の研修受講を促すとともに、指導的立場の職員への意識付にも取り組む。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	総合政策課広報係	NO	130
成果指標	カ ホームページの年間アクセス件数【単年】						
取組方針 施策の方向性	(1) 行政運営のスリム化と効率化 (2) 財政運営の健全化 (3) 市職員の意識改革・能力向上 (4) 電子自治体システムの構築促進 (5) 広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	532,000件	532,000件	532,000件	532,000件	532,000件
実績値	468,815件	500,216件 (推計)	554,231件	642,113件	631,812件

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
 ※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	1. 既に達成した	達成率	118.8%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	平成27年度から、お知らせやちいきの話題などを日々の情報更新を行ってきた。平成30年度にはハローキティーの特設ページの開設などのコンテンツも追加した。令和元年度には新たに twitter や facebook、Instagram の公式 SNS を開設するとともに市のホームページのリニューアルを行った。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	CMS を使用した記事の更新、ちいきの話題の記事掲載、各種お知らせの掲載、伊勢堂岱遺跡、ハローキティー特設ページの開設、広報きたあきたのネット掲載		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	ホームページアクセス件数については、年度目標値を上回る実績となった。最新の行政情報やちいきの話題など定期的にホームページを更新し、お知らせ等を適時掲載することによりアクセス数の増加につながったと考えられる。また、ハローキティー特設ページや伊勢堂岱遺跡特設ページなどのコンテンツが充実していることからアクセス数の底支えになっている。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	市ホームページはプッシュ型でなく、あくまでも見に来てもらうことが前提であるため、今後は SNS 等と連携し、市民の方がタイムリーに情報を得られるようになり、結果、アクセス数も増加するように SNS の登録者数を増やす取り組みが必要である。そのためには、記事の投稿を継続しつつ周知に努める。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート 個票

種別	総合計画	基本目標	5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり	担当部署	総合政策課広報係	NO	131
成果指標	キ 何かしら市政情報を得ている市民の割合						
取組方針 施策の方向性	(1) 行政運営のスリム化と効率化 (2) 財政運営の健全化 (3) 市職員の意識改革・能力向上 (4) 電子自治体システムの構築促進 (5) 広報・広聴の充実						

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績値	89.8%	94.4%	94.0%	93.2%	94.3%

※種別が「総合計画」の場合の目標値は、全て平成 32 年度（令和 2 年度）時点での目標値になります。
※実績値がアンケート結果等の場合は、下の数値が母数となります。→集計母数：458 人

担当部署による評価・検証（自己分析）

達成度評価	2. 現在の取組みで達成予定	達成率	96.2%
取組内容 (5年間でどのように進めようとしたのか?)	広報きたあきたを毎月1日に1回発行している。市ホームページについては、日々更新を行ってきている。市公式 SNS についても旬な情報を発信している。		
取組実績 (5年間で何をを行うことができたか?)	広報きたあきたの毎月発行、市ホームページへの記事掲載、市公式 SNS での発信、その他市議会だよりの発行、各種チラシの配布も市として行っている。		
総括 (5年間取り組んできたの分析・総括)	市政情報を得ている方法については、内訳をみると広報紙面によるものが 87.1%と最も高い。次で市議会だより 28.8%、一般新聞 25.1%、自治会回覧板 27.9%である。また、市ホームページにより情報を得ている方は 14.2%、SNS については、2.0%は調査が公式 SNS の開設前であったためと低調である。		
方向性 (今後はどのように取り組んで行くか)	今後も広報紙面の充実を図るのはもちろんのこと、リニューアルしたホームページの周知や令和元年12月から開始した SNS の発信を継続していく必要がある。また、情報発信については、今後も事業計画段階から、効果的、戦略的に進める必要があり、複数の媒体を活用した相乗効果を期待した広報計画など、担当課と事業の実施と併せて、掲載する時期、内容を含め検討し行う必要がある。また、高齢者が多く、新たなデジタル媒体での情報提供について補完する仕組みを検討する必要がある。		

備考	
----	--

MEMO	
------	--